

**Panasonic**

# ネットワーク インターフェースユニット

**取扱説明書**

品番 WJ-NT104

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



上手に使って上手に節電

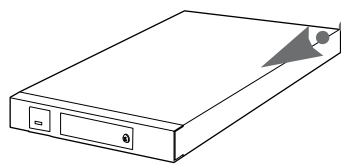
このたびは、ネットワークインターフェースユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

## 商品概要

本機は、映像キャプチャー + JPEG圧縮機能とHTTPサーバー機能を有し、既存のビデオ機器から出力されるアナログ映像を10BASE-Tイーサネットへインターフェースするユニットです。

TCP/IPプロトコルの採用により、汎用のパソコン + ブラウザによる簡易モニタリングを実現できます。

- ・最大4台のカメラ入力が可能です。選択されたチャンネルの映像をネットワークに出力します。
  - ・カメラ同軸通信機能により、コンビネーションカメラ WV-CS850,CS850Aシリーズ(別売品)に対する回転台/レンズ制御が可能です。
  - ・アラーム機器と連動し、異常発生前後の画像を記録/伝送できます。
  - ・RS-232C,RS-485通信機能により、監視システム機器(別売品)の制御が可能です。
- また、モデムの接続により、PPP(Point to Point Protocol)接続が可能です。
- ・本機内部にホームページを持っています。FTP(File Transfer Protocol)を使用して、お客様の作成したHTMLファイル(ホームページの記述ファイル)を書き替えることにより、お客様独自のホームページに作り替えることができます。
  - ・EIAラック 1Uハーフサイズの規格を採用しています。工事部品 WQ-LMK44/1-W (別売品)を使用すると、EIAラックに取り付けて使用することができます。
- また、工事部品 WQ-LMK44/2-W (別売品)を使用すると、EIAラック 1Uサイズに2台まで並べて取り付けることができます。



WJ-NT104



ホームページ

## 付属品をご確認ください

|                     |   |             |   |
|---------------------|---|-------------|---|
| ACアダプター .....       | 1 | 取扱説明書 ..... | 1 |
| コードクランプ .....       | 1 | 保証書 .....   | 1 |
| CD-ROM (本ディスク)..... | 1 |             |   |

### 著作権について

- 米国におけるLinuxの名称は、Linus Torvaldsの登録商標です。
- Turbolinuxの名称およびロゴは、米国Turbolinux,Inc.の登録商標です。
- ターボリナックス、Turbolinuxは、ターボリナックスジャパン株式会社の登録商標です。
- Red Hatは、Red Hat,Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- Free BSDは、Free BSD Inc.およびWalnut Creek CD-ROMの登録商標です。
- MS-DOS、Microsoft、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Netscape Navigatorは、Netscape社の商標です。
- Adobe Acrobat Readerは、アドビシステムズ社の商標です。
- その他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

# もくじ

|                    |    |                        |    |
|--------------------|----|------------------------|----|
| 商品概要               | 2  | お手入れについて               | 5  |
| 付属品をご確認ください        | 2  | 各部の名前と働き               | 6  |
| 安全上のご注意            | 4  | 前面                     | 6  |
| 取扱上のご願い            | 5  | 後面                     | 6  |
| 使用上のご願い            | 5  |                        |    |
| システム構成             | 8  | LAN型接続                 | 10 |
| LAN型接続構成           | 8  | グローバルネットワークへの接続        | 12 |
| PPP型接続構成           | 9  | PPP型接続1(P to P受信専用型接続) | 13 |
| 準備                 | 10 | PPP型接続2(ネットワーク型接続)     | 19 |
| 基本運用画面について         | 22 | PULLモードとPUSHモード        | 25 |
| 動作モードについて          | 23 | 基本運用画面の操作1             | 26 |
| 4 to 1 チャンネル切替モード  | 23 | 4 to 1 チャンネル切替モード      | 26 |
| 4 to 4 マルチチャンネルモード | 23 | 1チャンネル固定モード            | 26 |
| 1チャンネル固定モード        | 23 | 4 to 4 マルチチャンネル固定モード   | 27 |
| シーケンスモード           | 23 | 基本運用画面の操作2             | 28 |
| 映像出力設定について         | 24 | 4 to 1 チャンネル切替モード      | 28 |
| 画像解像度              | 24 | 1チャンネル固定モード            | 30 |
| 画像圧縮率              | 24 | 4 to 4 マルチチャンネル固定モード   | 32 |
| アラーム一覧画面           | 34 | アラーム通知機能               | 36 |
| アラーム記録機能           | 35 | 専用プロトコルによる通知(別売品)      | 36 |
| 1ショット記録            | 35 | メール(SMTPクライアント)による通知   | 36 |
| 連続記録[afterのみ]      | 35 | アラーム画像の読み出し            | 37 |
| 連続記録[after/before] | 35 |                        |    |
| 設定画面について           | 38 | シリアル設定                 | 46 |
| ハードウェア設定画面の見かた     | 38 | モデム設定                  | 48 |
| 基本画面設定             | 39 | ユーザー設定                 | 49 |
| ネットワーク設定           | 40 | ホスト設定                  | 50 |
| 動作モード設定            | 42 | FTPクライアント設定            | 51 |
| 映像出力設定             | 43 | 時計設定                   | 53 |
| アラーム設定             | 44 | カメラメニュー                | 54 |
| ユーティリティソフトについて     | 55 | カメラメニュー設定              | 57 |
| ネットワーク設定           | 55 |                        |    |
| アクセス制限機能           | 58 | コンテンツ記憶領域について          | 60 |
| アクセス権管理方法          | 58 | HTML記述による制御方法          | 61 |
| アクセスレベル            | 58 | 映像表示                   | 61 |
| 登録方法               | 59 | カメラ操作                  | 62 |
| コンテンツアップロード機能      | 60 | アラーム操作                 | 66 |
| ファイルアップロード手順       | 60 | HTTPサーバーの文字列置換について     | 68 |
| 故障とありましたら          | 70 |                        |    |

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は絵表示の一例です。)



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

### 工事は販売店に 依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

ただちに電源を切ってから、販売店にご連絡ください。

### 異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因となります。

ただちに電源を切ってから、販売店にご連絡ください。

### 分解しない、 改造しない



分解禁止

火災や感電の原因となります。

修理や点検は、販売店にご連絡ください。

### 異常があるときは、 すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

ただちに電源を切ってから、販売店にご連絡ください。

### 不安定な場所に 置かない



禁止

落下などでけがの原因となります。

## ⚠ 注意

落とさない、  
強い衝撃を与えない



けがの原因となります。

禁止

## 取扱上のお願い

「安全上のご注意」と合わせて、以下のことをお守りください。

### 使用上のお願い

#### 内蔵バックアップ電池について

48時間以上の連続通電を行い、内蔵のバックアップ電池を充電してください。

本機の停電保証時間は480時間(常温)ですが、この電池の充電が不十分ですと停電保証時間が短くなります。また、内蔵バックアップ電池はリチウム2次電池を使用しており寿命があります。

約5年を目安に交換してください。

(ただし、この時間はあくまでも交換の目安であり、部品を保証するものではありません)

長時間停電したときや電池寿命を過ぎたときは、日付・時刻の再設定をしてください。

#### ラックへ取り付ける際は

ラック内の温度が、+45 以上にならないようにしてください。

必要に応じて、ラックへ放熱ファンを取り付けてください。

ラックに取り付けるときは、本機の上下に熱を多く発生する機器(アンプなど)を取り付けしないでください。やむをえず取り付ける場合は、上下の機器と本機1台分以上の間隔をあけてください。

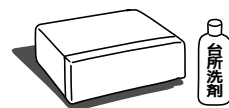
### お手入れについて

#### 本機のお手入れは

電源を切り、乾いた布でふいてください。ほこりが取れにくいときは、水で薄めた台所用洗剤(中性)を柔らかい布にしみ込ませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で洗剤成分を完全にふき取ってください。

ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使用しないでください。

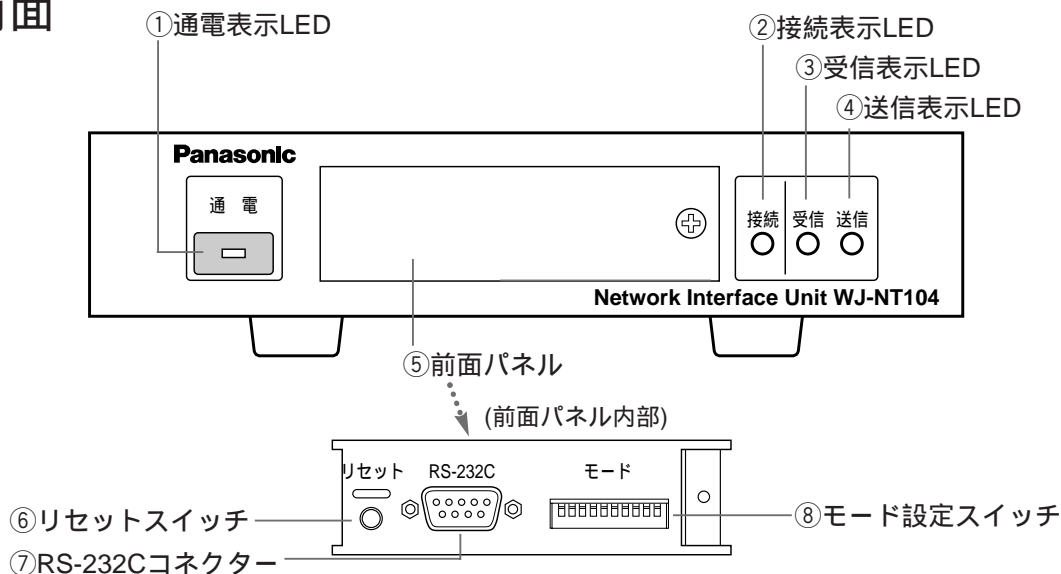
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。



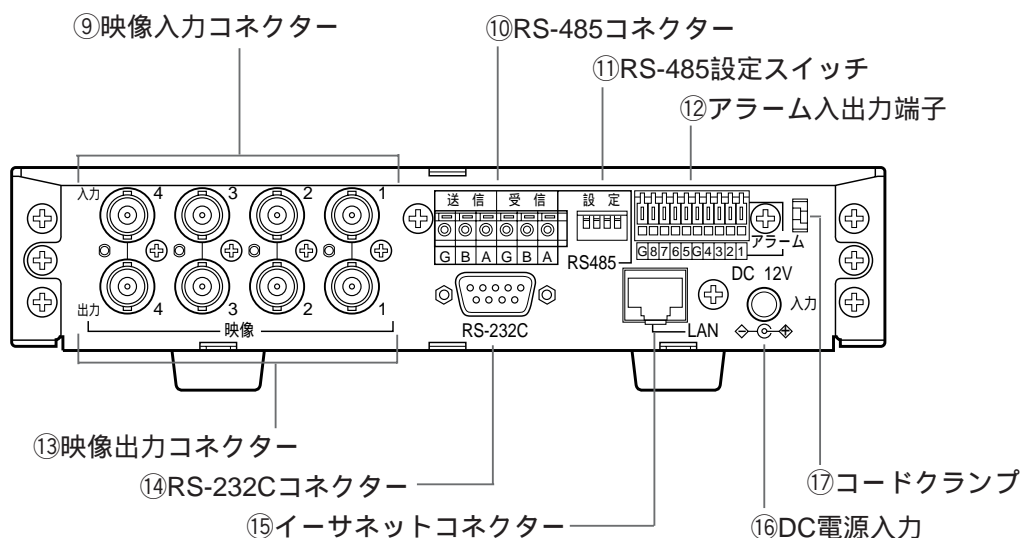
ベンジン  
シンナー  
殺虫剤

# 各部の名前と働き

## 前面



## 後面



- ①通電表示LED [ 通電 ]  
通電時に点灯します。
- ②接続表示LED [ 接続 ]  
正常動作しているネットワークへ接続時に、点灯します。
- ③受信表示LED [ 受信 ]  
ネットワークからデータ受信中に、点灯します。
- ④送信表示LED [ 送信 ]  
ネットワークへデータ送信中に、点灯します。
- ⑤前面パネル
- ⑥リセットスイッチ [ リセット ]  
モード設定変更時など、再起動が必要な時に使用します。
- ⑦サービス用RS-232Cコネクタ [ RS-232C ]  
設置後など、後面のRS-232Cコネクタ⑭が使用できない場合、切り替えて使用します。

## ⑧モード設定スイッチ [モード]

各種モード設定時に使用します。

通常使用時は、すべてOFFにしてご使用ください。

## ・SW1

IPアドレスなどの各種設定データを初期化(IP=192.168.0.10)します。

- ・このスイッチを「ON」にして、リセットスイッチを押すと、初期化作業(約10秒)が始まります。
- ・再起動するときは、「OFF」に戻して再度リセットスイッチを押します。

## ・SW2

本機内部に記憶しているHTMLファイルやJPEGなどの画像データをデフォルト設定(工場出荷状態)に戻します。IPアドレスなどの各種設定データは初期化されません。

- ・このスイッチを「ON」にして、リセットスイッチを押すと、初期化作業(数分間)が始まります。
- ・再起動するときは、「OFF」に戻して再度リセットスイッチを押します。

設定データおよびホームページなど全ての設定をデフォルト設定(工場出荷状態)に戻す場合は、SW1とSW2を両方同時に「ON」して、リセットします。

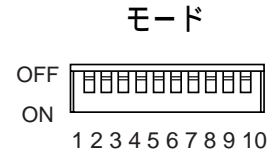
## ・SW3,4,5,6,7,8,10

常に「OFF」に設定してください。

## ・SW9

RS-232Cコネクタ(前面側/後面側)の切替スイッチです。

「OFF」にすると後面側コネクタ、「ON」にすると前面側コネクタが有効になります。



[設定一覧表]

|       | SW1 | SW2 | SW3 | SW4 | SW5 | SW6 | SW7 | SW8 | SW9 | SW10 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 通常使用時 | OFF | OFF | OFF | OFF | OFF | OFF | OFF | OFF | OFF | OFF  |
| 初期化時  | ON  | ON  | OFF | OFF | OFF | OFF | OFF | OFF | OFF | OFF  |

## ⑨映像入力コネク

ター [映像入力 1/2/3/4] BNCコネクタ  
カメラを接続します。

## ⑩RS-485コネクタ [送信/受信]

コンビネーションカメラ(別売品)制御時に使用します。

## ⑪RS-485設定スイッチ [RS-485 設定]

RS-485 インターフェースを有する外部機器(コンビネーションカメラなど)を接続する際に使用します。RS-485の通信設定を行います。

| RS-485モード | SW1 | SW2 | SW3 | SW4 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|
| 2線/終端 ON  | ON  | ON  | ON  | ON  |
| 4線/終端 ON  | ON  | OFF | OFF | ON  |
| 2線/終端 OFF | OFF | ON  | ON  | ON  |
| 4線/終端 OFF | OFF | OFF | ON  | ON  |

## ⑫アラーム入出力端子 [アラーム]

アラーム機能使用時に、アラーム外部機器と接続します。入力/出力は変更可能です。

## ⑬映像出力コネクタ [映像出力 1/2/3/4] BNCコネクタ

映像入力のループスルー出力です。

## ⑭RS-232Cコネクタ [RS-232C]

モデム接続、監視機器(別売品)の制御が可能です。

## ⑮イーサネットコネクタ [LAN]

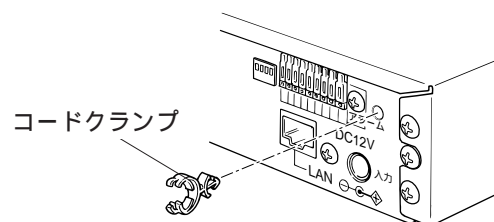
10 BASE-Tケーブルを接続します。

## ⑯DC電源入力 [DC12V 入力]

ACアダプター(付属品)を接続します。

## ⑰コードクランプ (付属品)

ACアダプター(付属品)の線材固定に使用します。



# システム構成

本機は、イーサネットに接続して使用する「LAN型接続」と、モデム/TA(ターミナルアダプター)を経由して一般電話回線に接続して使用する「PPP型接続」の2通りの使い方ができます。

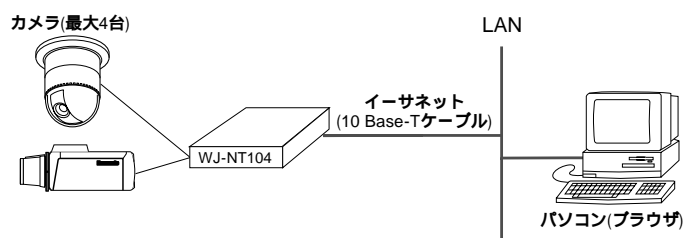
## LAN型接続構成

ご使用の際には、設置先のLAN環境に合わせて本機のアドレス類(IP、ネットマスク、デフォルト・ゲートウェイ)を設定する必要があります。

### クライアントパソコンからの直接アクセス

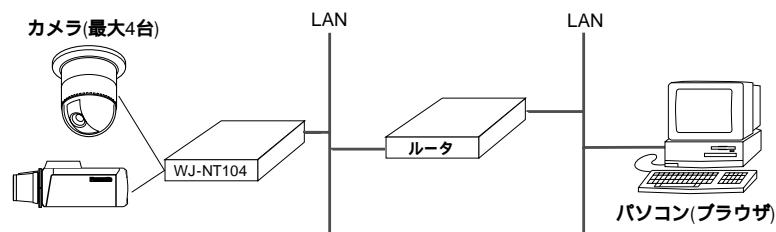
- 同一サブネット内の端末からのアクセス

同じサブネット内のクライアントパソコン(以下、パソコン)から、モニタリングする例です。IPアドレス、ネットマスクが正常に設定されている必要があります。



- ルーティングされた端末からのアクセス

異なるサブネットに属するパソコンからモニタリングする例です。IPアドレス、ネットマスクだけでなく、デフォルト・ゲートウェイが正常に設定されている必要があります。



### FTPクライアント機能

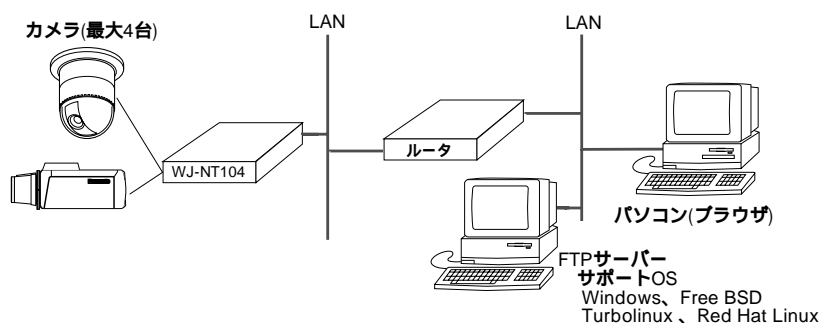
通常アップロードと、アラームアップロードをサポートしています。

- 通常アップロード

定期的に指定したディレクトリに画像データをアップロードします。

- アラームアップロード

アラームモードに合わせて、アラームにより指定したディレクトリにアラーム画像データをアップロードします。



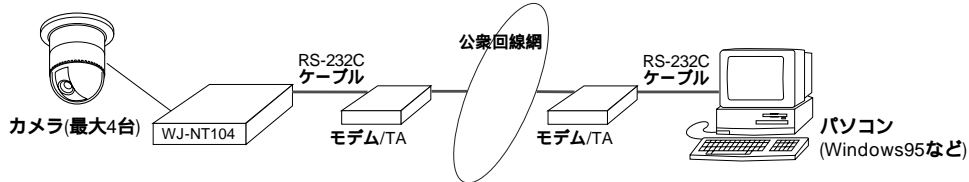


## PPP型接続構成

### 本機へ発呼

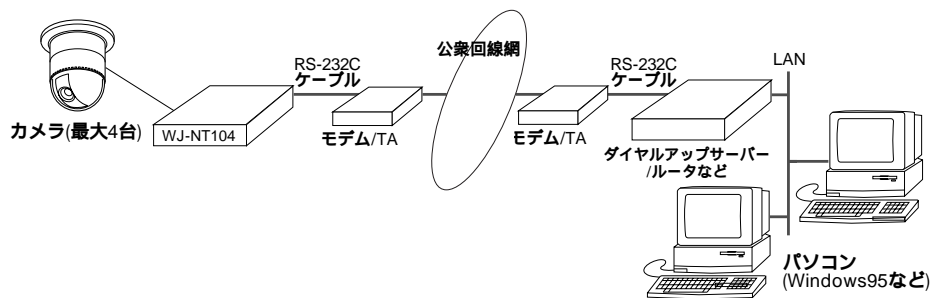
#### ● 直接本機へ接続

公衆回線網経由でクライアントから本機へ発呼し、PPP(Point-to-Point Protocol)を用いて接続する構成です。「ネットワーク設定」の「PPP動作モード」を「P to P接続着信専用モード」に設定すると、Windows95などのパソコンから容易にアクセスできます。



#### ● ダイヤルアップサーバー（またはルータ）経由で接続

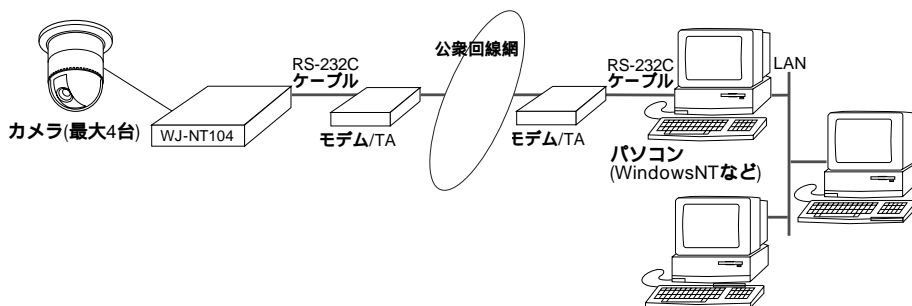
ダイヤルアップサーバー(またはISDN、POTSルータ)に、あらかじめ接続先の本機の電話番号と接続時のIPアドレスを設定しておきます。設定したアドレスを指定すると、ダイヤルアップサーバーが接続先へ発呼し、PPP(Point-to-Point Protocol)を用いて接続する構成です。「ネットワーク設定」の「PPP動作モード」を「ネットワーク接続モード」に設定すると、既存のLANと本機を容易に接続できます。



### 本機から発呼

本機にあらかじめ相手先の電話番号、ユーザー名、パスワードなどを設定しておきます。

アラームの入力があった時、本機は登録されている通信相手先に発呼し、PPP(Point-to-Point Protocol)



#### RS-232Cケーブル結線図

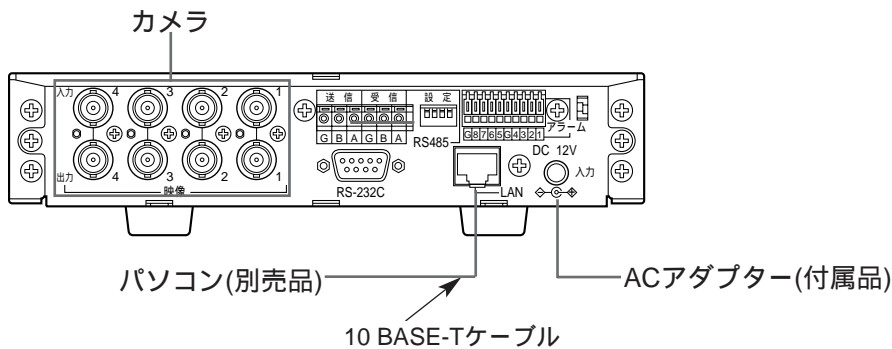
RS-232Cケーブルには、多種類の結線仕様が存在しますので、接続時には結線仕様に注意ください。

| WJ-NT104<br>DB 9 ピン | モデム/TA<br>DB 25 ピン | WJ-NT104<br>DB 9 ピン | モデム/TA<br>DB 9 ピン |
|---------------------|--------------------|---------------------|-------------------|
| 1 .....             | 8                  | 1 .....             | 1                 |
| 2 .....             | 3                  | 2 .....             | 2                 |
| 3 .....             | 2                  | 3 .....             | 3                 |
| 4 .....             | 20                 | 4 .....             | 4                 |
| 5 .....             | 7                  | 5 .....             | 5                 |
| 6 .....             | 6                  | 6 .....             | 6                 |
| 7 .....             | 4                  | 7 .....             | 7                 |
| 8 .....             | 5                  | 8 .....             | 8                 |
| 9 .....             | 22                 | 9 .....             | 9                 |

# 準備

以下に示す条件を満たすパソコンを準備してください。

- ・ Windows95/Windows98/WindowsNT4.0 SP3以降のいずれかのOSが動作していること。
- ・ WWWブラウザが動作していること。  
推奨ブラウザ > Netscape Navigator ver.4.04 以上  
( Netscape ver.6 系列は除く )  
Internet Explorer ver 4.0 以上
- ・ ディスプレイ解像度 800×600 ドット以上



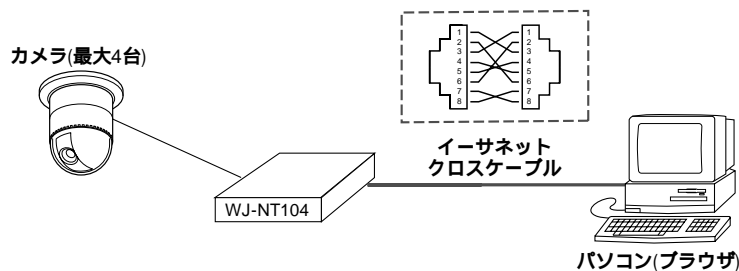
## LAN型接続

本項では、本機の使いかたおよびネットワークの設定方法を理解していただくため、ネットワークに直接接続する前に、パソコンと1対1でローカル接続してテストする方法を説明します。接続方法には、ハブを使用する/しないの2通りがあります。

### ローカル接続

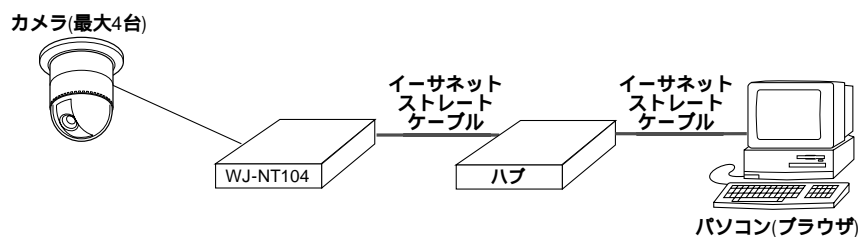
- ハブを使用せず、直接パソコンと接続する場合

パソコン側の10 BASE-T コネクタと、本機のイーサネットコネクタ間をクロスケーブルで接続します。



- ハブを使用して、パソコンと接続する場合

パソコン側の10 BASE-T コネクタと、本機のイーサネットコネクタ間をハブを介して接続します。ケーブルは、ストレート仕様です。



## 設定のしかた

工場出荷状態における本機のアドレス類設定値は、下記の通りです。

|              |               |
|--------------|---------------|
| IPアドレス       | 192.168.0.10  |
| ネットマスク       | 255.255.255.0 |
| デフォルト・ゲートウェイ | 192.168.0.1   |

工場出荷状態時の本機へアクセスするには、パソコンのIPアドレスも192.168.0. x x (x xは10を除く2~254のうちいずれか)に設定する必要があります。

- ①本機とパソコンを接続する。
- ②パソコンのTCP/IPの設定を、本機の工場出荷状態設定値に合わせて変更する。

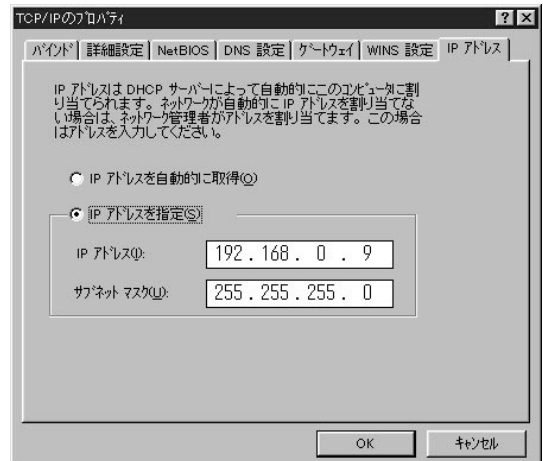
Windows95/98の場合は、「コントロールパネル」 「ネットワーク」 「ネットワークの設定」で、TCP/IPを選択し、プロパティボタンを押して表示を起動し、IPアドレスを下記のように変更します。

IPアドレス.....192.168.0.9  
サブネットマスク.....255.255.255.0

- ③IPアドレスを有効にするため、パソコンを再起動する。WWWブラウザを立ち上げ、ブラウザの設定を「アドレス 192.168.0.10 はプロキシを使用しない」に設定します。

例えば、Netscape Navigatorの場合は、「編集」 「設定」 「詳細」 「プロキシ」 「手動でプロキシを設定」 「次のアドレスで始まるドメインにはプロキシを使用しない」欄に192.168.0.10 を指定し、URLにhttp://192.168.0.10/ を指定します。

- ④ブラウザに本機のホームページ 基本運用画面が表示される。  
カメラ入力のある場合は、カメラ画像も同時に表示されます。
- ⑤ホームページ上のスイッチ/ボタンをマウスでクリックし、本機の機能を確認する。  
操作の詳細については、「基本運用画面について」をご参照ください。



## グローバルネットワークへの接続

はじめに、使用環境に合わせて本機のIPアドレスを設定する必要があります。設定するアドレスは、設置するネットワーク管理者にご相談ください。

設定方法には、LAN接続によりホームページ上で行う方法 / RS-232C接続により行う方法の2通りがあります。

### LAN接続によるIPアドレス設定方法

#### ①パソコンから本機にアクセスする。

URLに<http://192.168.0.10/hwsetup.html>を指定して、ハードウェア設定画面に入り( )、「ネットワーク設定」をクリックして、ネットワーク設定画面に入ります。

#### メモ

ハードウェア設定画面に入るためには、ユーザーIDとパスワードが必要です。工場出荷時は、ユーザーID「admin」、パスワード「(なし)」に設定されています。

#### ② IPアドレス、ネットマスク、デフォルト・ゲートウェイを設定する。

具体的な設定値は、設置先のネットワークに依存するため、ネットワーク管理者にご相談ください。

#### ③パソコンのTCP/IPの設定を変更する。

従来からネットワーク接続されていたパソコンの場合は、元(192.168.0.9に変更する前)のIPアドレスに変更します。

Windows95/98の場合は、「コントロールパネル」 「ネットワーク」 「ネットワークの設定」でTCP/IPを選択し、プロパティボタンを押して表示を起動し、IPアドレス設定を変更します。

#### ④ IPアドレスを有効にするため、パソコンを再起動する。

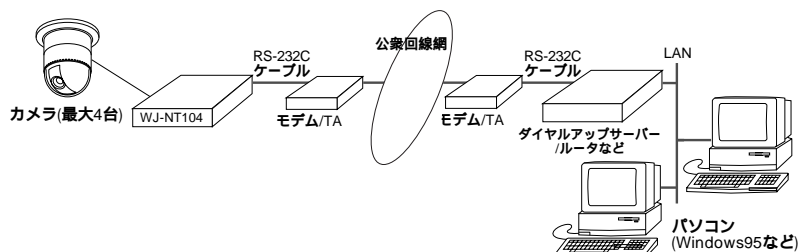
#### ⑤パソコンのブラウザを起動する。

URLに[http://\(本機に設定したIPアドレス\)/](http://(本機に設定したIPアドレス)/)を指定し、本機からの映像が表示されれば、接続完了です。



## PPP ( Point to Point Protocol ) 型接続1 ( P to P受信専用型接続 )

本機は、モデムまたはTA(ターミナルアダプター)と接続することにより、一般電話回線及びISDNを経由してのPPP(Point to Point Protocol)接続が可能です。



### 設定方法

PPPの設定を行うためには、LANを使用して本機にhttpアクセスし、ハードウェア設定画面に入る必要があります。既にLAN接続して使用されている場合は、URLにhwsetup.htmlを指定してハードウェア設定画面に入ってください。LAN接続されていない場合は、「準備」の項目に記載されている手順で接続し、hwsetup.htmlを指定してハードウェア設定画面に入ってください。

- ①ハードウェア設定画面で「シリアル設定」をクリックすると、下記の画面が表示される。  
 「RS-232C設定」の設定をします。
  - ・「用途」.....「モデム/TA」を選択。
  - ・「ビットレート」、「データビット」、「ストップビット」、「パリティ」、「XON / XOFF」  
 .....使用するモデム/TAに合わせて設定。  
 不明な場合は、それぞれ「57600 bps(注)」、「8 bit」、「1 bit」、「none」、「なし」に設定してください。  
 (注) モデムまたはTA間で接続した転送速度に近い値に設定してください。  
 値が大きく異なると、画像の表示速度が大変遅くなる場合があります。
- ②[設定]ボタンをクリックして、設定内容を保存する。



# 準備

- ③ハードウェア設定画面で「モデム設定」をクリックすると、下記の画面が表示される。  
「モデムの種類」「初期化コマンド」(直接指定時のみ)「ダイヤル方式」,「自局電話番号」,「相手局電話番号」,「接続時ログインID」,「接続時パスワード」,「リダイヤル(回数、間隔)」に必要な情報を設定します。
- ④[設定]ボタンをクリックして保存する。



- ⑤ハードウェア設定画面で「ネットワーク設定」をクリックすると、下記の画面が表示される。  
「使用するネットワーク」を「PPP」に設定します。



- ⑥[設定&再起動]ボタンをクリックして保存する。  
本機はLAN接続モードからPPP接続モードに切り替わります。
- ⑦本機後面側のRS-232Cコネクタとモデム/TAのRS-232CコネクタをRS-232Cケーブルで接続し、クライアント(パソコン)側から、モデム/TAを経由して本機にアクセスする。

## アクセス方法

Windows95/98搭載のパソコンから、PPP(Point to Point Protocol)を使用して、本機にアクセスする方法は、次の通りです。

### 準備

①パソコンに次のソフトがインストールされていることを確認する。

- ・TCP/IPプロトコル

Windows95/98に付属しています。コントロールパネルの「ネットワーク」に「TCP/IP ダイアルアップアダプタ」が表示されない場合は、インストールする必要があります。

詳しくは、Windows95/98のヘルプファイルなどをご参照ください。

- ・ダイアルアップネットワーク

Windows95/98に付属のPPPソフトです。「マイコンピュータ」にない場合は、インストールする必要があります。

詳しくは、Windows95/98のヘルプファイルなどをご参照ください。

②接続先を確認する。

接続する先の、本機に接続した回線の電話番号と接続可能な回線の種別、通信速度などをご確認ください。

③モデムまたはTAをパソコンに接続し、セットアップする。

以降の説明は、モデムまたはTAの接続機器の設定が済んでいるという前提で進めます。

モデムまたはTAの接続方法は、各機器の取扱説明書をご参照ください。

### 接続設定方法

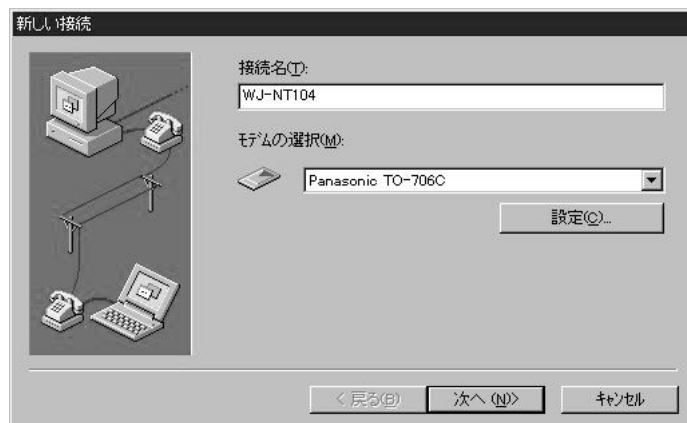
本機に接続するための条件などを設定します。この設定は、一度行えばそれで終わりです。アクセスのたびに行う必要はありません。

①「マイコンピュータ」の「ダイアルアップネットワーク」をダブルクリックする。



## 準備

- ② 「新しい接続」をダブルクリックする。



- ③ 内容を設定し、[次へ]ボタンをクリックする。

「新しいダイヤルアップネットワーク接続が次の名前で作成されました。...」と表示されます。



- ④ [完了]ボタンをクリックする。

「ダイヤルアップネットワーク」のウィンドウに戻ります。

新しく作成したアイコン(以降、接続用アイコン)が表示されます。

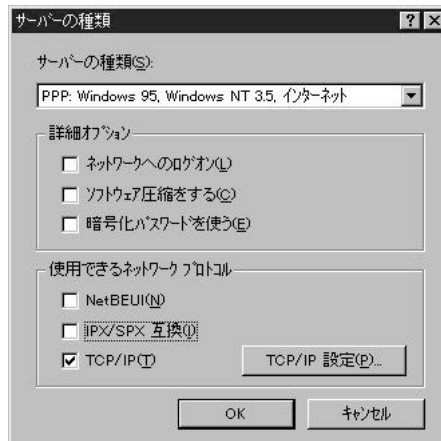
- ⑤ 接続用アイコンを右クリックしてメニューを表示し、「プロパティ」の項目を選択する。



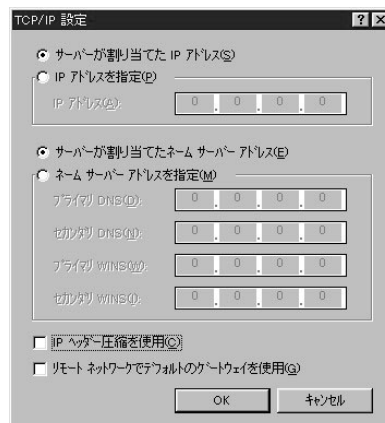
- ⑥タブの「サーバーの種類」をクリックする。



- ⑦「PPP : Windows95、WindowsNT3.5、インターネット」(Windows95の場合)、  
「PPP : Windows95/98、WindowsNT4.0、インターネット」(Windows98の場合)を選択する。  
⑧「詳細オプション」は全てチェックをはずす。  
⑨「使用できるネットワークプロトコル」は、「TCP/IP」を選択する。



- ⑩ダイアログの内容を設定したら、[TCP/IP 設定]ボタンをクリックする。  
⑪「サーバーが割り当てたIPアドレス」を選択する。  
⑫「サーバーが割り当てたネームサーバーアドレス」を選択する。  
⑬「IPヘッダ圧縮を使用」、「リモートネットワークでデフォルトのゲートウェイを使用」をOFFにする。

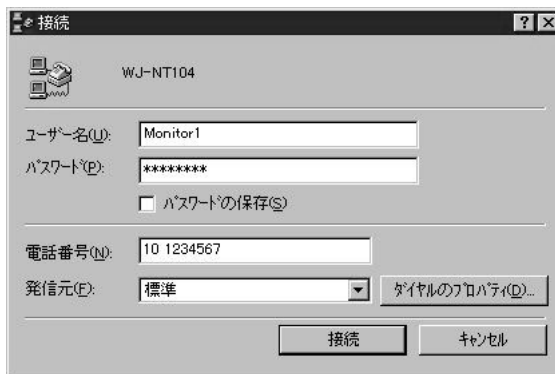


- ⑭ダイアログの内容を設定したら、[OK]ボタンをクリックする。  
サーバーの種類画面に戻ります。[OK]ボタンをクリックし、再度[OK]ボタンをクリックします。

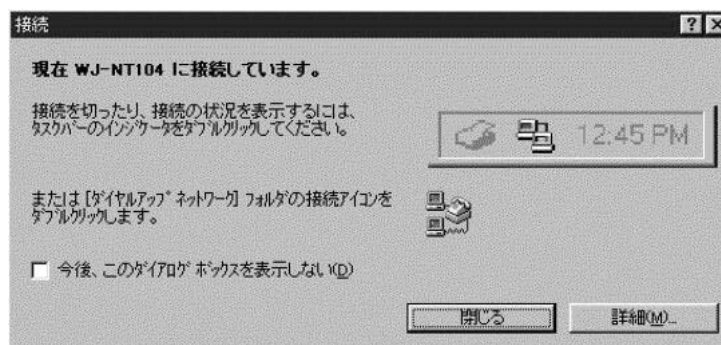
# 準備

## アクセス方法

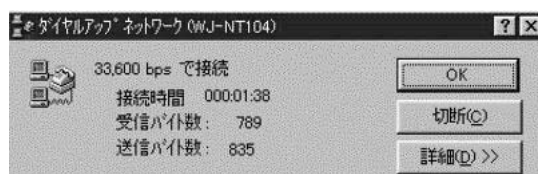
- ① 「ダイヤルアップネットワーク」ウインドウで、接続用アイコンをダブルクリックする。



- ② ダイアログの内容を確認後、[接続]ボタンをクリックする。  
しばらくすると、接続中であることを示すダイアログが表示されます。  
Windows95のバージョンによっては、このダイアログが表示されないことがあります。



- ③ タスクバーに表示されたアイコン(インジケータ)をダブルクリックする。  
接続中であることを示すウインドウが表示されます。



- ④ 切断する場合は、ダイヤルアップネットワークウインドウの[切断]ボタンをクリックする。

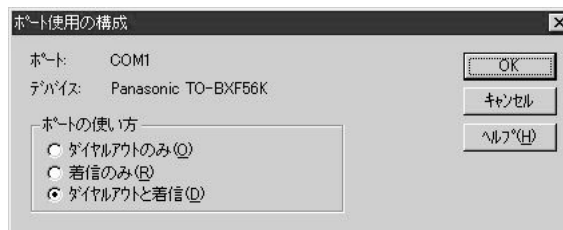
## PPP ( Point to Point Protocol ) 型接続2 ( ネットワーク型接続 )

### WindowsNTの設定方法

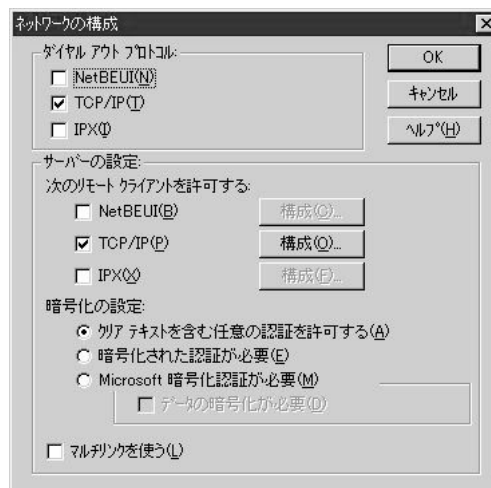
- ①ダイヤルアップネットワークをインストールする。  
ダイヤルアップネットワークのインストールは、コントロールパネルの「ネットワーク」アプレットの「サービス」でダイヤルアップネットワークサービスの追加を行います。
- ②リモートアクセスサービスが、ネットワークサービスのリスト内に作成される。  
インストール後、「ネットワーク」アプレットの「リモートアクセスサービス」のプロパティで下記の画面を呼び出します。



- ③[構成]ボタンをクリックし、「ポートの使い方」を設定し、[OK]ボタンをクリックする。  
②のリモートアクセスセットアップ画面に戻ります。



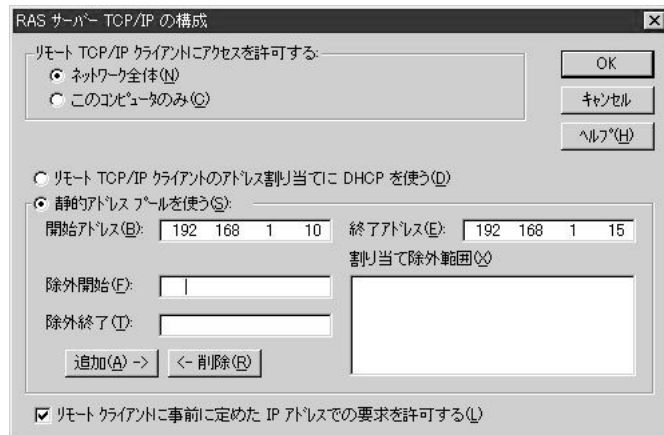
- ④[ネットワーク]ボタンをクリックし、「ネットワークの構成」で使用するプロトコルを設定する。



- ⑤「ダイヤルアウトプロトコル」の「TCP/IP」に、チェックする。
- ⑥「次のリモートクライアントを許可する」で、「TCP/IP」にチェックする。
- ⑦暗号化の設定で「クリアテキストを含む任意の認証を許可する」にチェックする。

# 準備

- ⑧ [構成] ボタンをクリックし、「RASサーバーのTCP/IPの構成」画面を使用して設定する。



- ⑨ 「リモートTCP/IPクライアントにアクセスを許可する」で、「ネットワーク全体」にチェックする。

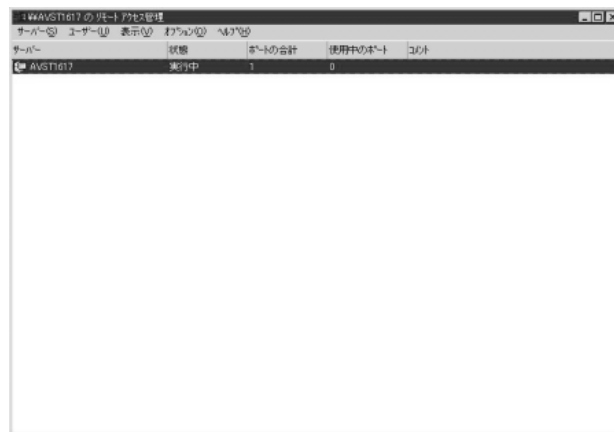
- ⑩ 「リモートTCP/IPクライアントのアドレス割り当て」で、「静的アドレスプールを使う」にチェックする。

- ⑪ 開始アドレス、終了アドレスを設定する。

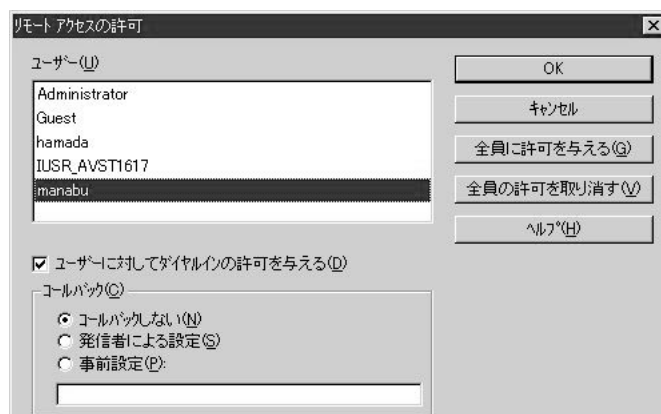
(例) 192.168.1.10 ~ 192.168.1.15 までのアドレスプールを使用できる場合は、上記画面のように設定します。

- ⑫ ユーザーにリモートアクセスの許可を与えるために、リモートアクセス管理設定を行う。

リモートアクセス管理の起動は、「スタート」メニューの「プログラム」-「管理ツール」-「リモートアクセス管理」をクリックします。



- ⑬ リモートアクセスを許可するユーザーに対して、「ユーザーに対してダイヤルインの許可を与える」をチェックする。



## Windows98の設定方法

- ①ダイヤルアップネットワークをインストールする。

ダイヤルアップネットワークのインストールは、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」アプレットの「通信」でダイヤルアップサーバーサービスの追加を行います。

- ②タスクバーのアイコンをクリックして、ダイヤルアップサーバーの設定画面を表示させる。



- ③複数のモデムが設定されている場合は、画面上部のタブをクリックして、使用するモデムを選択する。

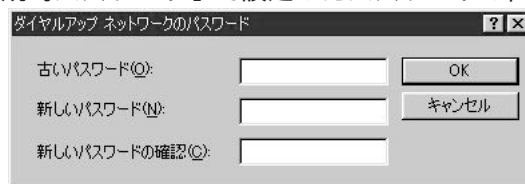
- ④「着信する」にチェックする。

- ⑤「パスワードの変更」をクリックする。

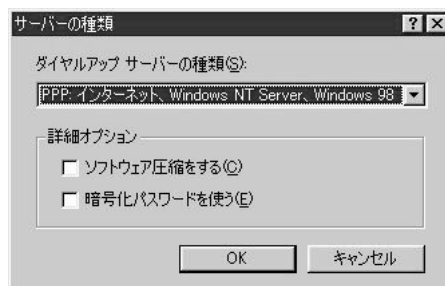
ダイヤルアップネットワークのパスワード登録画面が表示されます。

- ⑥パスワードを入力する。

本機のモデム/TAの設定「接続時パスワード」で設定したパスワードと同じものに設定します。



- ⑦「サーバーの種類」をクリックすると、サーバーの種類画面が表示される。



- ⑧ダイヤルアップサーバーの種類で「PPP：インターネット、Windows NT Server、Windows98」を選択する。

- ⑨詳細オプション「ソフトウェアを圧縮する」、「暗号化パスワードを使う」のチェックをはずす。

# 基本運用画面について

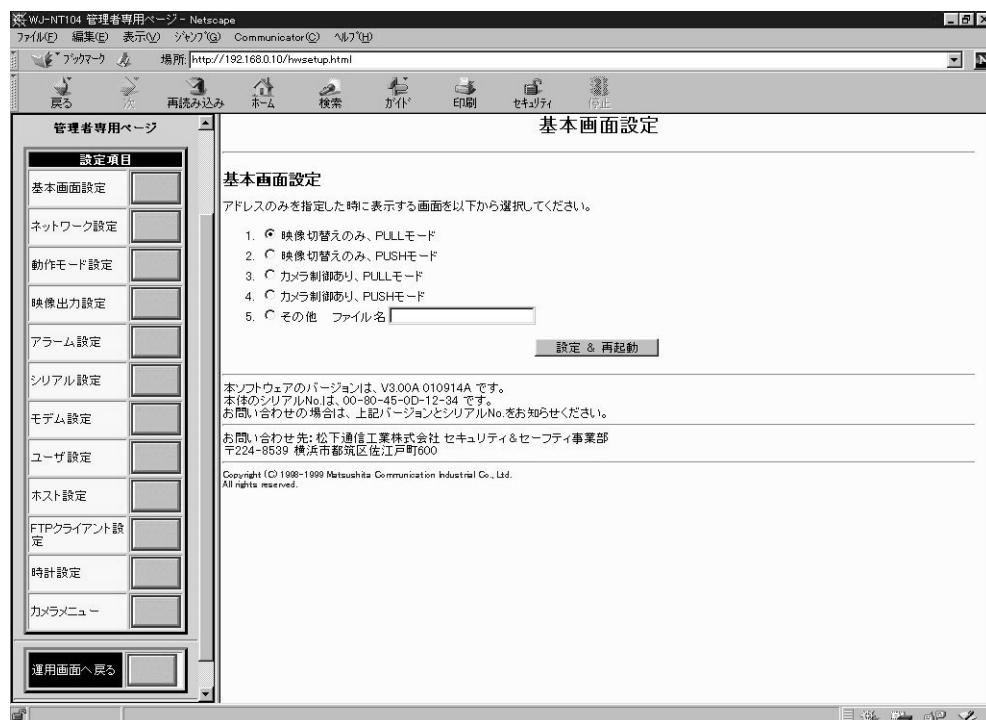
URLにhttp://192.168.0.10/を指定(本機のアドレスが192.168.0.10の場合)すると、基本運用画面に入ります。

基本運用画面として、次の5種類の画面を設定することができます。

1～4の画面については、動作モードによって、表示される画面が一部異なります。

1. 映像切替えのみ、PULLモード
2. 映像切替えのみ、PUSHモード
3. カメラ制御あり、PULLモード
4. カメラ制御あり、PUSHモード
5. その他の指定ファイル

基本運用画面の設定方法は、「基本画面設定」をご参照ください。



# 動作モードについて

本機は、カメラ入力を4台までサポートしています。

複数のカメラ入力を有効に使用するため、以下の4モードをサポートしています。

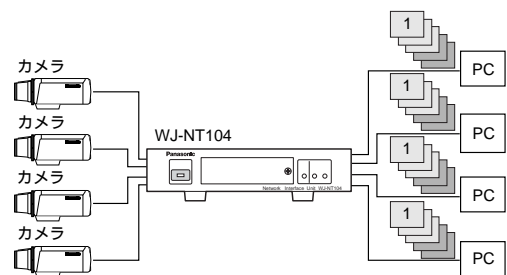
- 4 to 1 チャンネル切替モード
- 4 to 4 マルチチャンネルモード
- 1 チャンネル固定モード
- シーケンスモード

モードの設定は、本機ホームページ上の**ハードウェア設定画面** ([hwsetup.html](http://hwsetup.html)) 内で行います。

設定方法については、「**動作モード設定**」をご参照ください。

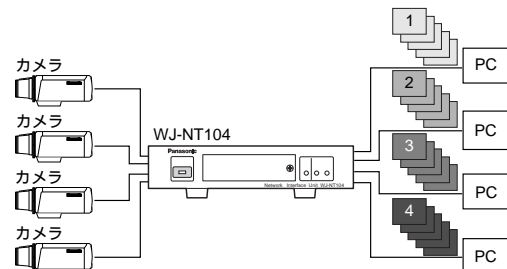
## 4 to 1 チャンネル切替モード

- ユーザーからチャンネル切替が指定されない限り、最後に選択された1つのチャンネルを送信し続けます。一人のユーザーがチャンネルを選択すると、他のユーザーに送信される画像も同じチャンネルに切り替わります。このため、モニタリング中のチャンネルが急に切り替わってしまうことがあります。
- 画像の転送レートは、最も高いモードです。
- 工場出荷時は、このモードに設定されています。



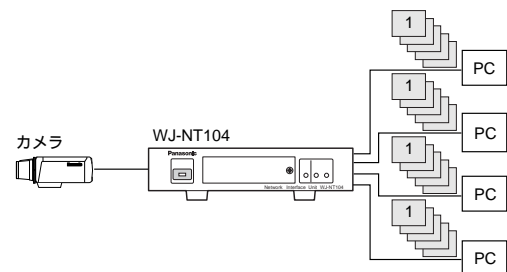
## 4 to 4 マルチチャンネルモード

- 高速で複数チャンネルを周期的に切り替えることにより、複数のユーザーから異なるチャンネル切替要求がきても、それぞれに送信できます。これにより、モニタリング中のチャンネルが急に切り替わることはありません。
- 画像の転送レートは、最も低いモードです。



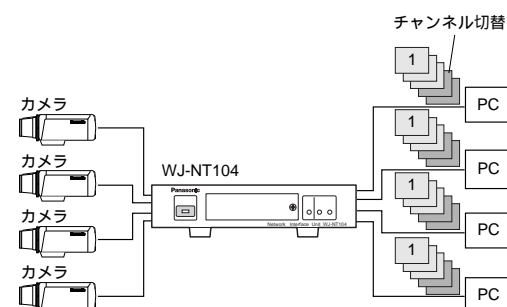
## 1 チャンネル固定モード

- 管理者が指定したチャンネル以外へは、切り替えられません。
- 画像の転送レートは、最も高いモードです。



## シーケンスモード

- 4 to 1チャンネル切替モードの応用で、指定した切替間隔でチャンネル切替を行います。シーケンス中は、パン/チルトやズームなどのカメラ制御コマンドの実行はできません。



# 映像出力設定について

---

## 画像解像度

画像解像度(画素サイズ)は、下記の4種類の解像度の中から1つを選択できます。

解像度が高くなると、画像データのサイズが大きくなり、画像の表示速度が遅くなります。

- ① 640 × 480
- ② 640 × 240
- ③ 320 × 240
- ④ 160 × 120

### メモ

上記の解像度で取り込んだ画像は、WWWブラウザで指定した大きさに、表示サイズを変更することができます。

- ・基本運用画面1～4では、640 × 240以外の解像度で取り込んだ画像は、取り込んだ解像度と同じサイズで表示します。
- ・640 × 240の解像度で取り込んだ画像は、640 × 480で表示します。

## 画像圧縮率

画像解像率(画質)は、下記の4種類の中から1つを選択できます。

圧縮率を下げると、画質は良くなりますが、画像データのサイズが大きくなり、画像の表示速度が遅くなります。

圧縮率を上げると、データサイズは小さくなりますが、画質は粗くなります。

- ① Super Fine (約1/ 6 圧縮)
- ② Fine (約1/10 圧縮)
- ③ Normal (約1/16 圧縮)
- ④ Rough (約1/25 圧縮)



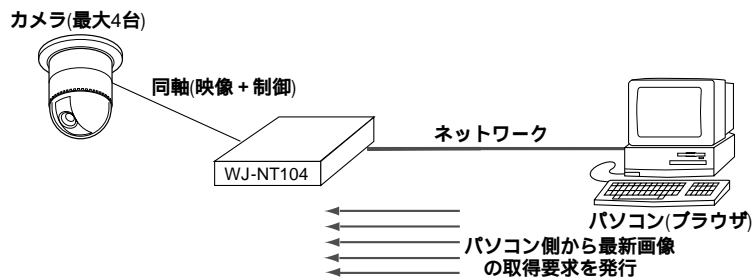
## PULLモードとPUSHモード

本機は、2種類の映像出力方式をサポートします。

### PULLモード

下図のように、パソコン側から本機に対して、最新画像の取得要求を自動的に繰り返し行うことにより、準動画の表示を行います。最新の画像取得要求時に、映像表示画面用のHTMLに埋め込まれたJavaScriptプログラムを実行します。

データ取得要求は、データの取得と画面上への描画処理完了後、設定画面で設定したレベルに基づいた時間間隔を取った後で、要求を発行するという手順を繰り返し実行します。



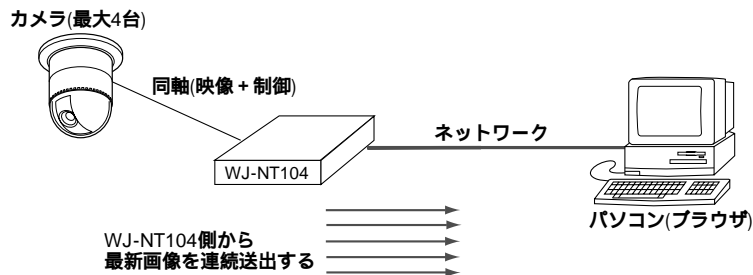
#### メモ

- WJ-NT104の機能を使用するためには、JavaScriptが実行可能なブラウザが必要です。Internet Explorer 4.0、Netscape Navigator 3.0以降の使用を推奨します（Netscape ver.6系列は除く）。Internet Explorer 3.Xでは、使用できません。

### PUSHモード

下図のように、パソコン側から本機に対して、連続画像の送出要求を発行します。

本機は、最新の画像を設定画面で設定したレベルに基づいた時間間隔をあけて取り込み、取り込んだ画像を連続してパソコンへ送信します。



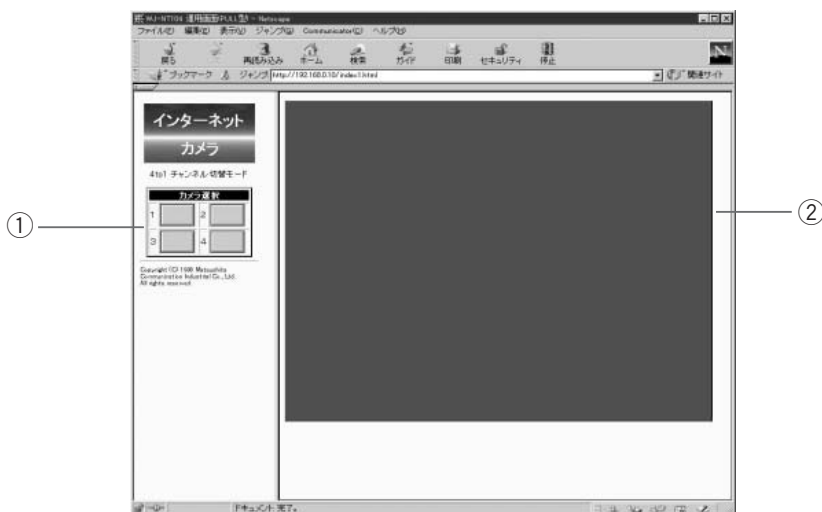
#### メモ

- PUSHモードで映像を表示するためには、Netscape Communicator 3.X以降のブラウザが必要です（Netscape ver.6系列は除く）。Internet Explorerでは表示できません。

映像出力の設定方法は、「映像出力設定」をご参照ください。

# 基本運用画面の操作1 (映像切替えのみ)

## 4 to 1 チャンネル切替モード



### ①カメラ選択

映像入力4系統を選択し、表示する映像の切り替えを行います。

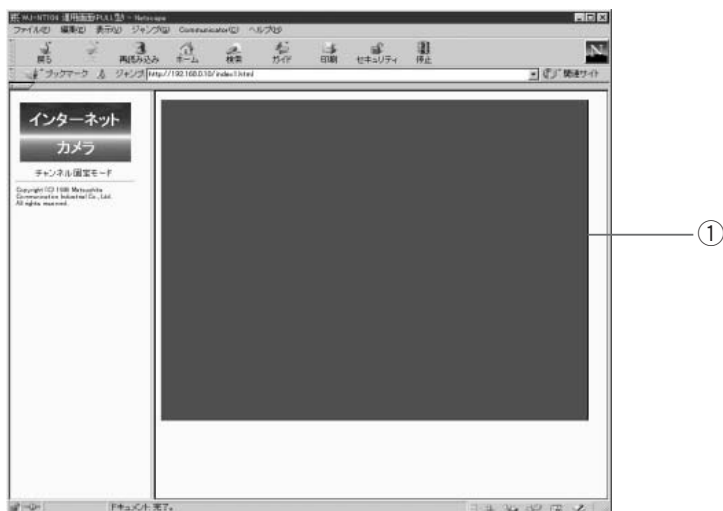
一人のユーザーがカメラを選択すると、本機に接続している全てのユーザーが表示している映像も切り替わります。

### ②ライブ映像表示

本機と接続したカメラから入力した映像を表示します。

基本画面では、選択した任意の1入力の映像を準動画として表示します。

## 1 チャンネル固定モード



### ①ライブ映像表示

本機で設定した映像入力チャンネルに接続したカメラから取り込んだ映像を表示します。

### メモ

・カメラ選択はできません。

## 4 to 4 マルチチャンネルモード



### ①カメラ選択

映像入力4系統を選択し、表示する映像の切り替えを行います。

一人のユーザーがカメラを選択した場合、その選択は自端末のみに有効となり、他のユーザーのチャンネルが急に切り替わることはありません。

### ②4画面表示

4入力の映像を、同時に1台の端末の画面へ表示します。

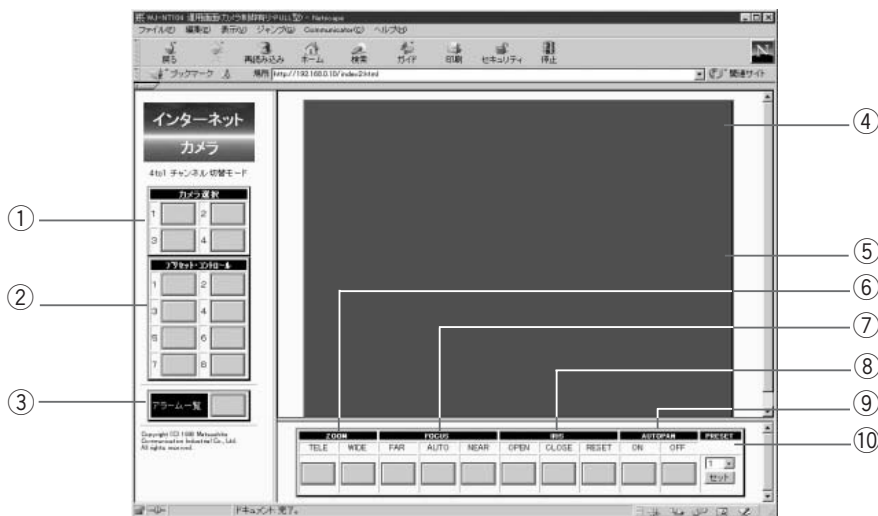
### ③ライブ映像表示

本機と接続したカメラからの映像を表示します。

基本画面では、選択した任意の1入力の映像を準動画として表示します。

# 基本運用画面の操作2 (カメラ制御あり)

## 4 to 1 チャンネル切替モード



### ①カメラ選択

映像入力4系統を選択し、表示する映像の切り替えを行います。

### ②プリセットコントロール

コンビネーションカメラ(別売品)接続時に、プリセット動作(8ポジション)が可能です。

### ③アラーム一覧

アラーム入力前後の任意のカメラ映像を、本機の内部メモリーに一時記録できます。  
アラーム表示については、「[アラーム一覧画面](#)」をご参照ください。

### ④ライブ映像表示

本機と接続したカメラから入力した映像を表示します。  
基本画面では、選択した任意の1入力の映像を準動画として表示します。

### ⑤パン/チルト操作

コンビネーションカメラ(別売品)接続時に、ライブ映像の上をマウスの左ボタンでクリックすると、カメラが上下左右に動きます。  
移動量は、画面の中央からの距離に応じて変わり、画面の端付近をクリックすると大きく動きます。画面中央付近をクリックした場合は、カメラは動きません。なお、画面上の同じ位置をクリックしたときの移動量は、ズームの状態に関わらず、一定角度動きます。  
なお、ライブ映像の上を押し続けてパン/チルト操作をすることはできません。  
カメラを大きく動かしたい場合は、再度ボタンをクリックしてください。

### ⑥ズーム操作

コンビネーションカメラ(別売品)接続時に、ズーム操作ボタン(WIDE/TELE)をクリックすることにより、カメラのズーム操作ができます。画面上のWIDE(TELE)ボタンをクリックすると、カメラは広角(望遠)動作を一定時間行い、自動停止します。  
なお、ズーム操作ボタンは押し続けることはできません。  
繰り返しズーム操作を行う場合は、再度ボタンをクリックしてください。

### ⑦フォーカス操作

コンビネーションカメラ(別売品)接続時に、フォーカス操作ボタン[FAR/AUTO/NEAR]をクリックすることにより、カメラのフォーカス操作ができます。画面上の[NEAR(FAR)]ボタンをクリックすると、NEAR(FAR)動作を一定時間行い、自動停止します。

画面上の[AUTO]ボタンを押すと、表示中の映像に対してオートフォーカスが働きます。

なお、フォーカス操作ボタンは押し続けることはできません。

繰り返しフォーカス操作を行う場合は、再度ボタンをクリックしてください。

### ⑧アイリス操作

コンビネーションカメラ(別売品)接続時に、アイリス操作ボタン[OPEN/CLOSE/RESET]をクリックすることにより、カメラのアイリス操作ができます。画面上の[OPEN(CLOSE)]ボタンをクリックすると、カメラのアイリスを一定時間開き(閉じ)、自動停止します。

画面上の[RESET]ボタンを押すと、表示中のカメラのアイリスを初期化します。

なお、アイリス操作ボタンは押し続けることはできません。

繰り返しアイリス操作を行う場合は、再度ボタンをクリックしてください。

### ⑨オートパン

コンビネーションカメラ(別売品)接続時に、オートパン操作ボタン[ON/OFF]をクリックすることにより、カメラのオートパンの状態を変更できます。

#### メモ

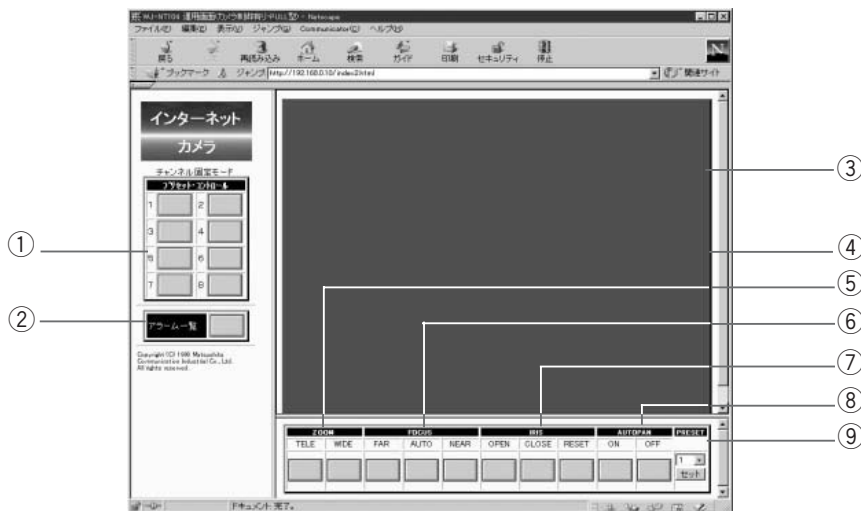
- ・カメラの設定で、LOCALにするとオートパンは1分で自動停止します。  
REMOTEにすると、オートパンは自動停止しません。

### ⑩プリセット

コンビネーションカメラ(別売品)接続時に、プリセット動作(64ポジション)ができます。

# 基本運用画面の操作2 (カメラ制御あり)

## 1 チャンネル固定モード



### ① プリセットコントロール

コンビネーションカメラ(別売品)接続時に、プリセット動作(8ポジション)が可能です。

### ② アラーム一覧

アラーム入力前後の任意のカメラ映像を、本機の内部メモリーに一時記録できます。  
アラーム表示については、「[アラーム一覧画面](#)」をご参照ください。

### ③ ライブ映像表示

本機と接続したカメラの映像を表示します。

### メモ

・カメラ選択はできません。

### ④ パン/チルト操作

コンビネーションカメラ(別売品)接続時に、ライブ映像の上をマウスの左ボタンでクリックすると、カメラが上下左右に動きます。

移動量は、画面の中央からの距離に応じて変わり、画面の端付近をクリックすると大きく動きます。画面中央付近をクリックした場合は、カメラは動きません。なお、画面上の同じ位置をクリックしたときの移動量は、ズームの状態に関わらず、一定角度動きます。

なお、ライブ映像の上を押し続けてパン/チルト操作をすることはできません。

カメラを大きく動かしたい場合は、再度ボタンをクリックしてください。

### ⑤ ズーム操作

コンビネーションカメラ(別売品)接続時に、ズーム操作ボタン[TELE/WIDE]をクリックすることにより、カメラのズーム操作ができます。画面上の[TELE/(WIDE)]ボタンをクリックすると、カメラは広角(望遠)動作を一定時間行い、自動停止します。

なお、ズーム操作ボタンは押し続けることはできません。

繰り返しズーム操作を行う場合は、再度ボタンをクリックしてください。

#### ⑥フォーカス操作

コンビネーションカメラ(別売品)接続時に、フォーカス操作ボタン[FAR/AUTO/NEAR]をクリックすることにより、カメラのフォーカス操作ができます。画面上の[NEAR(FAR)]ボタンをクリックすると、NEAR(FAR)動作を一定時間行い、自動停止します。

画面上のAUTOボタンを押すと、表示中の映像に対してオートフォーカスが働きます。

なお、フォーカス操作ボタンは押し続けることはできません。

繰り返しフォーカス操作を行う場合は、再度ボタンをクリックしてください。

#### ⑦アイリス操作

コンビネーションカメラ(別売品)接続時に、アイリス操作ボタン[OPEN/CLOSE/RESET]をクリックすることにより、カメラのアイリス操作ができます。画面上の[OPEN(CLOSE)]ボタンをクリックすると、カメラのアイリスを一定時間開き(閉じ)、自動停止します。

画面上の[RESET]ボタンを押すと、表示中のカメラのアイリスを初期化します。

なお、アイリス操作ボタンは押し続けることはできません。

繰り返しアイリス操作を行う場合は、再度ボタンをクリックしてください。

#### ⑧オートパン

コンビネーションカメラ(別売品)接続時に、オートパン操作ボタン[ON/OFF]をクリックすることにより、カメラのオートパンの状態を変更できます。

#### メモ

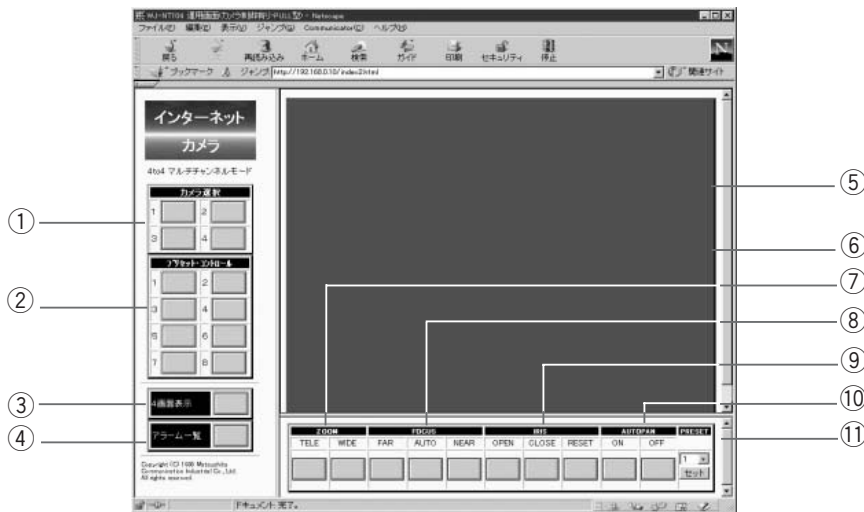
- ・カメラの設定で、LOCALにするとオートパンは1分で自動停止します。  
REMOTEにすると、オートパンは自動停止しません。

#### ⑨プリセット

コンビネーションカメラ(別売品)接続時に、プリセット動作(64ポジション)ができます。

## 基本運用画面の操作2 (カメラ制御あり)

### 4 to 4 マルチチャンネル固定モード



#### ①カメラ選択

映像入力4系統を選択し、表示する映像の切り替えを行います。

一人のユーザーがカメラを選択した場合、その選択は自端末のみに有効となり、他のユーザーのチャンネルが急に切り替わることはありません。

#### ②プリセットコントロール

コンビネーションカメラ(別売品)接続時に、プリセット動作(8ポジション)が可能です。

#### ③画面表示

4入力の映像を、同時に1台の端末の画面へ表示します。

#### ④アラーム一覧

アラーム入力前後の任意のカメラ映像を、本機の内部メモリーに一時記録できます。

アラーム表示については、「[アラーム一覧画面](#)」をご参照ください。

#### ⑤ライブ映像表示

本機と接続したカメラからの映像を表示します。

基本画面では、選択した任意の1入力の映像を準動画として表示します。

#### ⑥パン/チルト操作

コンビネーションカメラ(別売品)接続時に、ライブ映像の上をマウスの左ボタンでクリックすると、カメラが上下左右に動きます。

移動量は、画面の中央からの距離に応じて変わり、画面の端付近をクリックすると大きく動きます。画面中央付近をクリックした場合は、カメラは動きません。なお、画面上の同じ位置をクリックしたときの移動量は、ズームの状態に関わらず、一定角度動きます。

なお、ライブ映像の上を押し続けてパン/チルト操作をすることはできません。

カメラを大きく動かしたい場合は、再度ボタンをクリックしてください。



### ⑦ズーム操作

コンビネーションカメラ(別売品)接続時に、ズーム操作ボタン[TELE(WIDE)]をクリックすることにより、カメラのズーム操作ができます。画面上の[TELE(WIDE)]ボタンをクリックすると、カメラは広角(望遠)動作を一定時間行い、自動停止します。

なお、ズーム操作ボタンは押し続けることはできません。

繰り返しズーム操作を行う場合は、再度ボタンをクリックしてください。

### ⑧フォーカス操作

コンビネーションカメラ(別売品)接続時に、フォーカス操作ボタン[FAR/AUTO/NEAR]をクリックすることにより、カメラのフォーカス操作ができます。画面上の[NEAR(FAR)]ボタンをクリックすると、NEAR(FAR)動作を一定時間行い、自動停止します。

画面上の[AUTO]ボタンを押すと、表示中の映像に対してオートフォーカスが働きます。

なお、フォーカス操作ボタンは押し続けることはできません。

繰り返しフォーカス操作を行う場合は、再度ボタンをクリックしてください。

### ⑨アイリス操作

コンビネーションカメラ(別売品)接続時に、アイリス操作ボタン[OPEN/CLOSE/RESET]をクリックすることにより、カメラのアイリス操作ができます。画面上の[OPEN(CLOSE)]ボタンをクリックすると、カメラのアイリスを一定時間開き(閉じ)、自動停止します。

画面上の[RESET]ボタンを押すと、表示中のカメラのアイリスを初期化します。

なお、アイリス操作ボタンは押し続けることはできません。

繰り返しアイリス操作を行う場合は、再度ボタンをクリックしてください。

### ⑩オートパン

コンビネーションカメラ(別売品)接続時に、オートパン操作ボタン[ON/OFF]をクリックすることにより、カメラのオートパンの状態を変更できます。

#### メモ

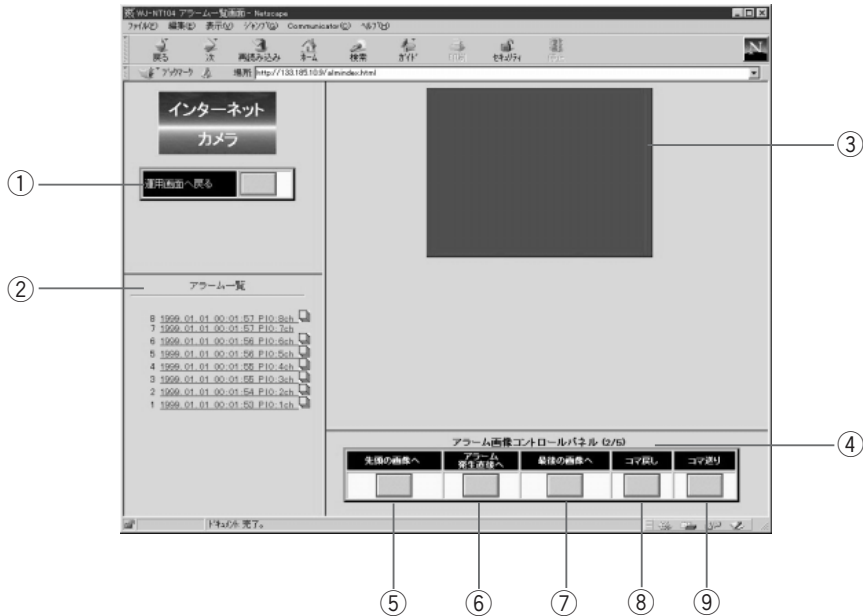
- ・カメラの設定で、LOCALにするとオートパンは1分で自動停止します。  
REMOTEにすると、オートパンは自動停止しません。

### ⑪プリセット

コンビネーションカメラ(別売品)接続時に、プリセット動作(64ポジション)ができます。

# アラーム一覧画面

URLにhttp://192.168.0.10/alindex.htmlを指定すると、アラーム一覧画面に入ります。  
アラームの入った日時・チャンネルが表示されます。クリックするとアラーム画像が表示されます。



## ①運用画面へ

ボタンを押すと、基本運用画面へ戻ります。

## ②アラーム一覧表示

アラームID、発生日時、チャンネルが表示されます。

アラームは、最大100件まで記憶されます。

アイコンのついているリスト項目のアラームは、画像が記録されています。

アイコンのついているリスト項目をクリックすると、アラーム画像が表示されます。

## ③アラーム画像表示

アラーム画像を表示します。表示される画像サイズは、映像出力設定で設定した画像解像度と同じサイズになります。(ただし、640×240の場合は、640×480で表示されます)

## ④アラーム画像コントロールパネル

アラーム連続記録時に、アラーム画像を1コマずつ確認することができます。

1ショット記録の場合、このコントロールパネルは表示されません。

## ⑤先頭の画像へ

一連のアラーム画像の先頭へジャンプします。

## ⑥アラーム発生直後の画像へ

アラーム連続記録[after/before]の場合にafterの1枚目へジャンプします。

アラーム連続記録[after]の場合は、アラーム画像の先頭へジャンプします。

## ⑦最後の画像へ

一連のアラーム画像の最後の画像へジャンプします。

## ⑧コマ戻し

1コマ前の画像へジャンプします。

## ⑨コマ送り

1コマ次の画像へジャンプします。

# アラーム記録機能

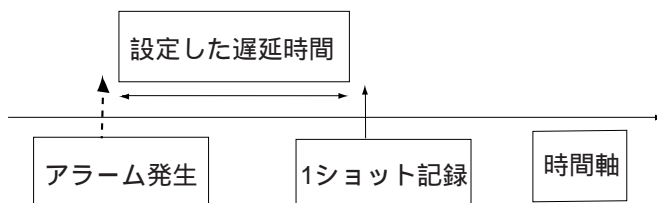
本機は、アラーム入出力端子をトリガーとして、アラーム発生前後の画像を記録すること、およびアラームが入力されたことをユーザーに通知する機能を有します。

アラーム映像の記録には、以下の3種類があります。

## 1ショット記録

アラーム受信後、設定情報として設定した一定時間後の静止画像1枚を、キャプチャーし保存します。

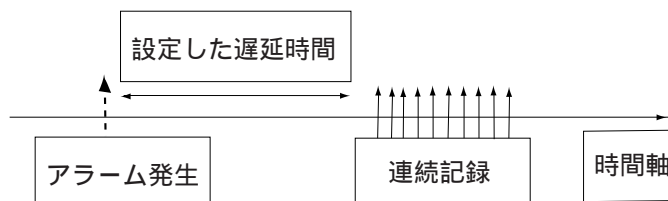
- ・アラーム受信からキャプチャーを行うまでの遅延時間は、100 mm秒単位で0～10秒の間で指定できます。



## 連続記録 [ afterのみ ]

アラーム受信後、設定情報として設定した一定時間後の指定枚数の画像を、連続してキャプチャーし保存します。

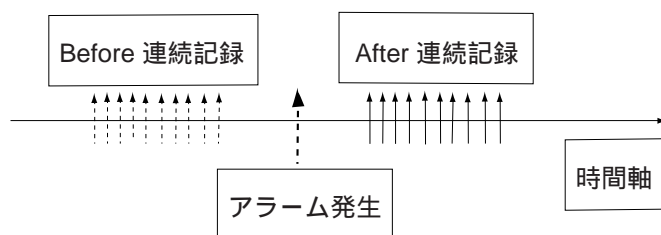
- ・アラーム受信からキャプチャーを開始するまでの遅延時間は、100 mm秒単位で、0～10秒の間で指定できます。
- ・保存枚数は、1～18枚まで設定可能です。(解像度640×480の場合)
- ・フレームレートは、1/10,1/5,3/10,1/2,1,2,3,5,10のいずれかを選択できます。
- ・アラーム記録中に、新規のアラームを受信した場合は、処理中のアラーム処理を中断し、後優先でアラーム画像を記録します。



## 連続記録 [ after / before ]

アラーム受信前の画像を、あらかじめ設定したフレームレートと枚数で記録します。さらに、アラーム発生後、指定枚数の画像を連続してキャプチャーし、保存します。

- ・保存枚数は、beforeとafterを合わせて、1～18枚(解像度640×480の場合)まで設定可能です。
- ・フレームレートは、1/10,1/5,3/10,1/2,1,2,3,5,10のいずれかを選択できます。
- ・アラーム記録中に、新規アラームを受信した場合は、処理中のアラーム処理を中断し、新規アラームに対する画像を記録します。



### アラーム画像の最大記録枚数

解像度・画質により異なります。

|         | Super Fine/Fine | Normal/Rough |
|---------|-----------------|--------------|
| 640×480 | 16枚             | 24枚          |
| 640×240 | 40枚             | 58枚          |
| 320×240 | 89枚             | 123枚         |
| 160×120 | 255枚            | 255枚         |

### メモ

- ・このモードは、「1チャンネル固定モード」設定時にのみ有効です。「4 to 1チャンネル切替モード」「4 to 4マルチチャンネルモード」では動作しません。

# アラーム通知機能

本機は、アラームが発生したことをユーザーに通知する機能を持っています。

アラームの通知方式には「専用プロトコルによる通知」、「メール(SMTPクライアント)による通知」の2方式があり、2つの方式を組み合わせて使うことができます。

## 専用プロトコルによる通知（別売品）

TCP/IPプロトコルをベースにした専用プロトコルで、アラームをユーザーに通知します。

本機にアラーム通知先パソコンのIPアドレスを設定することにより、アラーム発生時に設定されたIPアドレスへアラーム通知が発信されます。

- ・アラームを受信するためには、「WJ-NT104専用アラーム受信ソフト」（別売品）をご使用のパソコンにインストールします。この際、ご使用のパソコンは常に本機とLAN接続されている必要があります。
- ・本機には、最大16台までのアラーム通知先パソコンのIPアドレスを指定することができます。

### メモ

- ・アラーム受信側のパソコン電源が入っていなかったなどの理由により、一定のリトライ回数接続を試しても、パソコン側からのレスポンスがない場合は、そのパソコンへのアラーム通知を停止し、他に設定された相手先パソコンに通知されます。

## メール（SMTPクライアント）による通知

SMTP(Simple Mail Transfer Protocol)を用いて、メールサーバーにメールを発信します。

16個のメールの宛先を設定情報として指定できます。

- ・メール内容は、アラーム画像にアクセスするためのURL、発成年月日時分秒、カメラチャンネル、接点ポートのIDなどになります。
- ・設定したタイムアウト時間内に、メールサーバーにメールを送信できない場合は、メールを自動的に破棄します。
- ・Eメールを使用することにより、ページャ、PHS( )、携帯電話( )へもアラーム通知ができます。  
[ Eメールを直接転送可能な電話事業社に限ります。 ]
- ・連続記録[after/before]の場合のメール内容は、次の通りです。

### [説明]

- NT104 : ネットワーク設定で設定したホスト名が入ります。(最大8文字)  
工場出荷時は「NT104」が設定されています。
- 発生日時 : NT104の内部時計の時刻がアラーム発生日時となります。
- 発生ポート : アラームが発生したアラーム入出力端子のポート番号が入ります。
- アラーム画像へのリンク : アラーム画像のURLが入ります。連続記録の場合は、先頭の画像のURLが入ります。なお、以下の場合、本URLにアクセスしてもアラーム画像が表示されないことがあります。
- ①アラーム画像が上書きされた場合  
(アラーム画像の記録枚数は、35ページ参照)
  - ②アラームログが上書きされた場合  
(アラームログは最大100件まで記録可能)
  - ③設定の変更などでNT104を再起動した場合
  - ④電源の再投入やりセットボタンを押した場合
- 記録枚数 : アラーム画像の記録枚数が入ります。  
1ショット記録の場合は、ありません。

---

[例]

NT104でアラームが発生しました。

発生日時 : 1999.1.23 4 : 56 : 07

発生ポート : P10 3ch

アラーム画像へのリンク : [http://192.168.0.10/ALM0001\\_\\_00.JPG](http://192.168.0.10/ALM0001__00.JPG)

記録枚数 : 12枚(Pre 3枚、After 9枚)

---

## アラーム画像の読み出し

---

アラーム記録された画像は、本機のアラーム一覧画面(almindex.html)にアクセスすることにより、読み出すことができます。

# 設定画面について

## ハードウェア設定画面の見かた

URLにhttp://192.168.0.10/hwsetup.htmlを指定すると、ハードウェア設定画面に入ります。  
ハードウェア設定画面に入るためには、ユーザーIDとパスワードが必要です。  
工場出荷時は、ユーザーID「admin」、パスワード「(なし)」に設定されています。



### 設定 登録 ボタン

このボタンを押すと、画面上で設定した内容が本機に登録されます。  
押したときに、設定が有効になる範囲は、各項目区切り(罫線で区切られた範囲)になります。  
範囲のデータは、ボタンを押すと表示が元に戻ります。このボタンを押したときは、再起動は行いません。

### 設定 & 再起動 ボタン

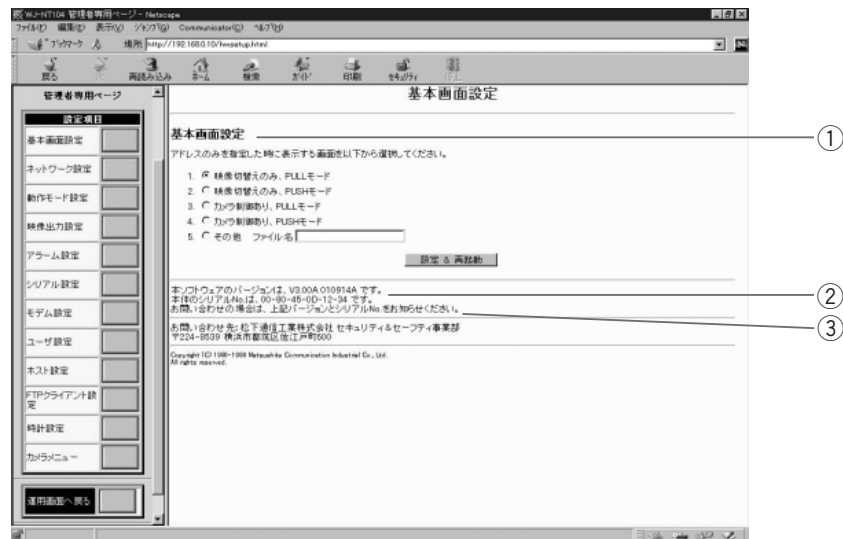
このボタンを押すと、画面上で設定した内容を本機に登録するのに加えて、システムの再起動までを自動的に行います。アラーム記録データなどが消去されますので、十分ご注意ください。

- ①基本画面設定  
ファイル名省略時のデフォルトページの設定を行います。
- ②ネットワーク設定  
LAN/PPPの選択、IPアドレス、ネットマスク、デフォルト・ゲートウェイの設定を行います。
- ③動作モード設定  
4 to 1、4 to 4、チャンネル固定、シーケンスの動作モードの設定を行います。
- ④映像出力設定  
画像の解像度、圧縮率、連続画像の表示間隔を設定します。
- ⑤アラーム設定  
アラーム入力の有効/無効、アラーム入力時の動作、アラーム通知先の設定を行います。
- ⑥シリアル設定  
RS-232C、RS-485の用途、通信設定を行います。
- ⑦モデム設定  
PPP接続時に使用するモデム、TA(ターミナルアダプター)の設定を行います。
- ⑧ユーザー設定  
ユーザーの登録、削除を行います。
- ⑨ホスト設定  
ユーザー認証なしでアクセス可能なホストのアドレスを設定します。
- ⑩FTPクライアント設定  
FTPクライアントを設定します。
- ⑪時計設定  
機器の内蔵時計を設定します。
- ⑫カメラメニュー  
カメラメニューを使い、カメラ(別売品)の設定を遠隔から行うことができます。

# 基本画面設定

URLにアドレスのみを指定したときに表示する画面を設定します。

画面上に、ソフトウェアのバージョン表示、シリアルNo.の表示、お問い合わせ先があります。



## ①基本画面設定

URLにアドレスのみを指定したときに表示する画面を設定します。

1.から5.のいずれか1つを選択することができます。

[例] 1.を選択すると、index1.html(映像切替えのみのPULLモード)が、4.を選択すると、nsindex2.html(カメラ制御あり、PUSHモード)が基本画面になります。

5.を選択すると、ファイル名の欄に指定したファイルが基本画面になります。

ファイル名は、最大30文字(.を含む)まで、半角英数字のみが指定できます。

工場出荷時設定は、「(1)映像切替えのみ、PULLモード」です。

## ②ソフトウェアバージョン表示

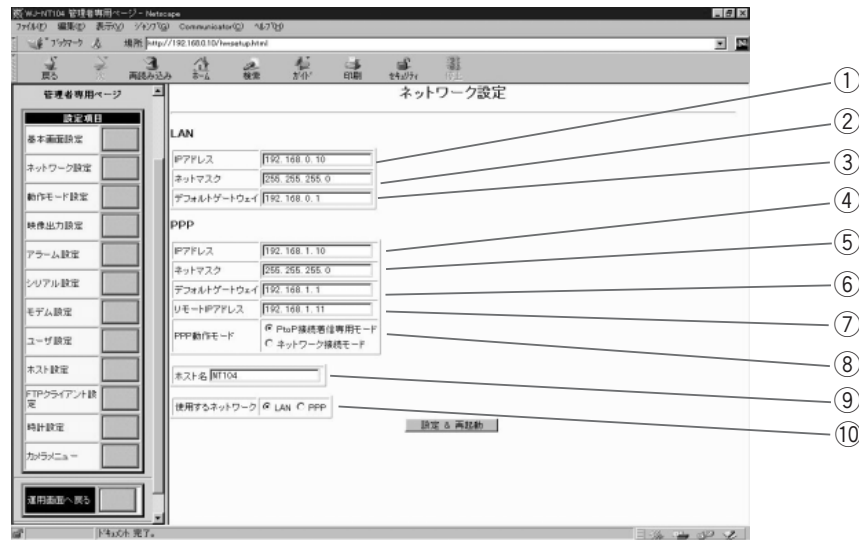
ソフトウェアのバージョンを表示します。

## ③シリアルバージョン表示

本体のシリアルNo.を表示します。

# ネットワーク設定

ハードウェア設定画面で、「ネットワーク設定」をクリックして、ネットワーク設定画面に入ります。  
LAN/PPPの選択、IPアドレス、ネットマスク、デフォルト・ゲートウェイの設定を行います。



① IPアドレス設定(LAN)

LANで使用する場合のIPアドレスを設定する項目です。  
工場出荷時は、192.168.0.10に設定されています。

② ネットマスク設定(LAN)

LANで使用する場合のネットマスクを設定する項目です。  
工場出荷時は、255.255.255.0に設定されています。

③ デフォルト・ゲートウェイ(LAN)

LANで使用する場合のデフォルト・ゲートウェイを設定する項目です。  
工場出荷時は、192.168.0.1に設定されています。

④ IPアドレス設定(PPP)

PPPで使用する場合のIPアドレスを設定する項目です。  
工場出荷時は、192.168.1.10に設定されています。

⑤ ネットマスク設定(PPP)

PPPで使用する場合のネットマスクを設定する項目です。  
工場出荷時は、255.255.255.0に設定されています。

⑥ デフォルト・ゲートウェイ(PPP)

PPPで使用する場合のデフォルト・ゲートウェイを設定する項目です。  
工場出荷時は、192.168.1.1に設定されています。

⑦ リモートIPアドレス

PPP動作モードが、「P to P接続着信専用モード」の場合に使用します。  
パソコンがNT104へ発呼して接続した際に、パソコン側のIPアドレスを本欄で設定したアドレスにします。パソコン側のIPアドレスの設定を「IPアドレスを自動的に取得」にしておく必要があります。工場出荷時は、192.168.1.11に設定されています。



---

#### ⑧ PPP動作モード

工場出荷時は、P to P接続着信専用モードに設定されています。

- ・ P to P接続着信専用モード

本モードに設定すると、着信接続したときのパソコンとNT104の両方のIPアドレスはNT104に設定したアドレスを使用します。

- ・ ネットワーク接続モード

本モードに設定すると、発信/着信に関わらず、パソコンとNT104の両方のIPアドレスは、パソコンに設定したアドレスを使用します。

#### ⑨ ホスト名

ホスト名の設定ができます。

アラーム通知(メール)の場合、本欄に設定した名前でも通知されます。

なお、本欄の設定とDNSなどの設定が異なっても構いません。

工場出荷時は、「NT104」に設定されています。

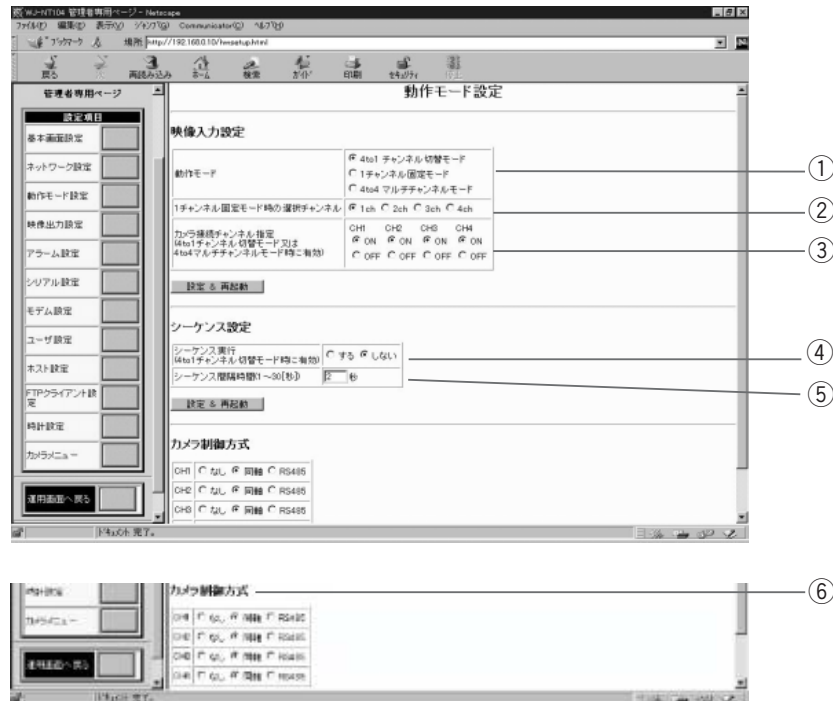
#### ⑩ 使用するネットワーク

LAN、PPPのいずれかを選択します。

工場出荷時は、LANに設定されています。PPPに設定した場合は、LANでアクセスできません。

# 動作モード設定

ハードウェア設定画面で、「動作モード設定」をクリックして、動作モード設定画面に入ります。  
映像入力設定、シーケンス設定、カメラ設定があります。



## ①動作モード

動作モードを選択します。

工場出荷時は、4 to 1チャンネル切替モードに設定されています。

## ②1チャンネル固定モード時の選択チャンネル

1チャンネル固定モード時に使用するチャンネルを選択します。

工場出荷時は、1チャンネルに設定されています。

## ③カメラ接続チャンネル指定

4 to 1チャンネル切替モードの場合、OFFに設定しているチャンネルに切り替えると、映像が表示されません。(イメージ取得不可のアイコンが表示されます)

シーケンスモードの場合、OFFにしたチャンネルをスキップしてシーケンスします。

4 to 4マルチチャンネルモードの場合、OFFに設定したチャンネルをスキップして映像を取り込むため、フレームレートが良くなります。

工場出荷時は、全てONに設定されています。

## ④シーケンス動作

本機の起動時にシーケンス動作をする/しないを設定します。

工場出荷時は、しないに設定されています。

## ⑤シーケンス間隔時間

シーケンス時のチャンネル切替えの時間間隔を設定します。

1~30秒まで、1秒単位で設定できます。

工場出荷時は、2秒に設定されています。

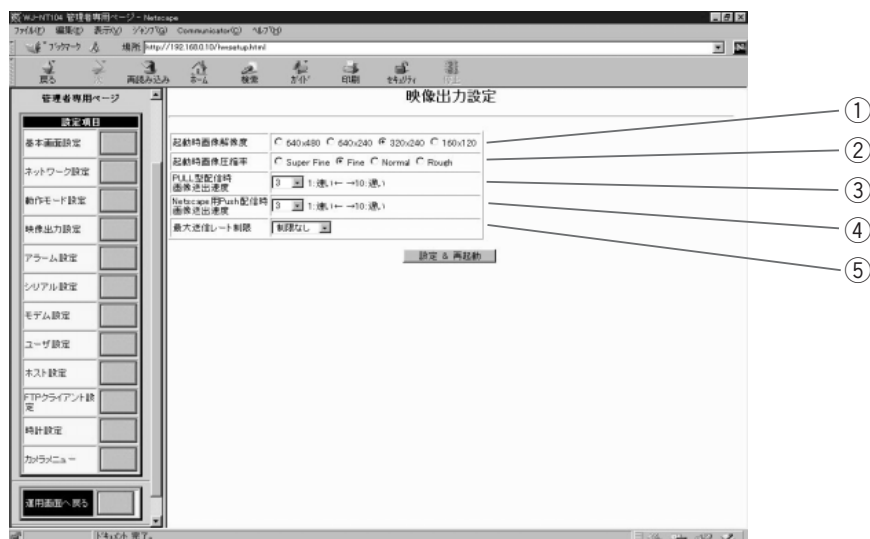
## ⑥カメラ制御方式

チャンネル毎にカメラの制御方式が設定できます。

工場出荷時は、同軸に設定されています。

# 映像出力設定

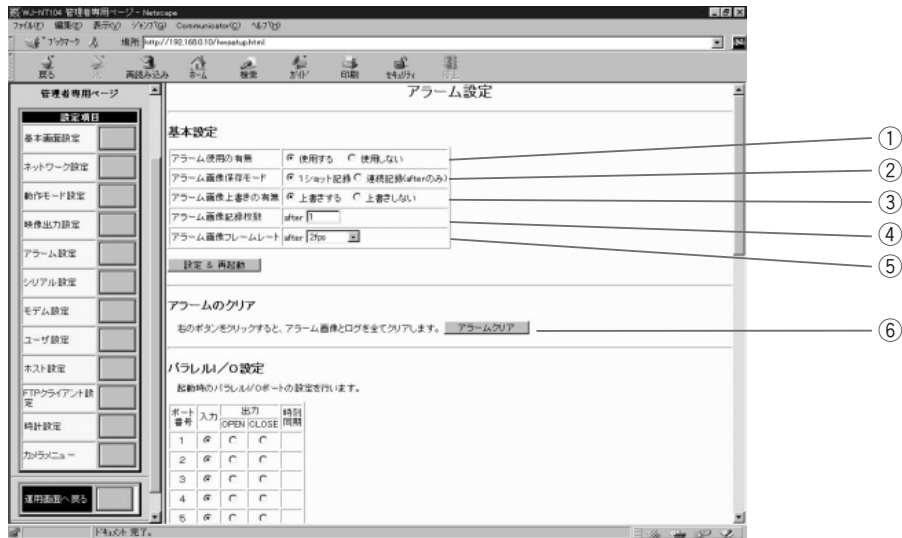
ハードウェア設定画面で、「映像出力設定」をクリックして、映像出力設定画面に入ります。画像の解像度、圧縮率、連続画像の表示間隔を設定します。



- ① 起動時画像解像度  
本機の起動時の、画像解像度を設定します。本設定は、ライブ映像、アラーム画像共通です。工場出荷時は、320×240に設定されています。
- ② 起動時画像圧縮率  
本機起動時の画像圧縮率を設定します。本設定は、ライブ映像、アラーム画像共通です。工場出荷時は、Fineに設定されています。
- ③ PULL型配信時画像送出速度  
PULL型配信利用時の送出速度の設定ができます。1が最も速く、数が大きくなるほど遅くなります。工場出荷時は、3に設定されています。
- ④ Netscape用PUSH配信時画像送出速度  
PUSH型配信利用時の送出速度の設定ができます。PUSH型配信機能は、Netscape Communicatorのみ使用できます。1が最も速く、数が大きくなるほど遅くなります。工場出荷時は、3に設定されています。
- ⑤ 最大送信レート制限  
本機からネットワークへ1秒あたりに送信するデータ量最大値の設定ができます。工場出荷時は制限なしに設定されています。

# アラーム出力

ハードウェア設定画面で「アラーム設定」をクリックして、アラーム設定画面に入ります。



- ① アラーム使用の有無  
アラーム使用する/しないを選択します。
- ② アラーム映像保存モード  
アラームモードを選択します。
- ③ アラーム画像上書きの有無  
「上書きする」に指定すると、古いアラーム画像の上から新しいアラーム画像を上書きします。  
「上書きしない」に指定すると、記録枚数の上限に達した時点で、新たな画像は記録されなくなります。
- ④ アラーム画像記録枚数  
アラーム前・後に記録する画像の枚数を指定します。

## メモ

・アラームモードによって、この設定項目の表示は異なります。

- ⑤ アラーム画像フレームレート  
記録時のフレームレートを指定します。

## メモ

・アラームモードによって、この設定項目の表示は異なります。

- ⑥ アラームのクリア  
メモリ内に記録したアラームログ、アラーム画像をクリアします。
- ⑦ パラレルI/O設定  
起動時のパラレルI/Oポートの設定を行います。工場出荷時は、全て入力になっています。  
ポート8は、時刻同期の機能にも使用できます。  
正時の±3分以内に接点入力があった場合、内蔵時計を正時にセットします。

アラーム連動設定

本設定は、上記のバレルレレ/の設置が入力になっているポートに対して有効になります。

| ポート番号 | アラーム連動  | カメラCH切替 | プリセット連動 | ディレイタイム<br>(単位100mSec) | アラームタイプ | 設定 |
|-------|---|---------|---------|------------------------|---------|----|
| 1     | <input checked="" type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF | なし      | 0       | 0                      | close   | 設定 |
| 2     | <input checked="" type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF | なし      | 0       | 0                      | close   | 設定 |
| 3     | <input checked="" type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF | なし      | 0       | 0                      | close   | 設定 |
| 4     | <input checked="" type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF | なし      | 0       | 0                      | close   | 設定 |
| 5     | <input checked="" type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF | なし      | 0       | 0                      | close   | 設定 |
| 6     | <input checked="" type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF | なし      | 0       | 0                      | close   | 設定 |
| 7     | <input checked="" type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF | なし      | 0       | 0                      | close   | 設定 |
| 8     | <input checked="" type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF | なし      | 0       | 0                      | close   | 設定 |

⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭

アラーム通知(独自プロトコル)

⑮ 独自プロトコル通知の有無  使用する  使用しない

⑯ 通知先ポート

⑰ リトライ回数

⑱ 設定

通知先IPアドレスの登録

通知先IPアドレスの削除

---

アラーム通知(メール)

⑳ メール通知の有無  使用する  使用しない

㉑ サーバアドレス

㉒ 送信者名

㉓ 設定 & 再起動

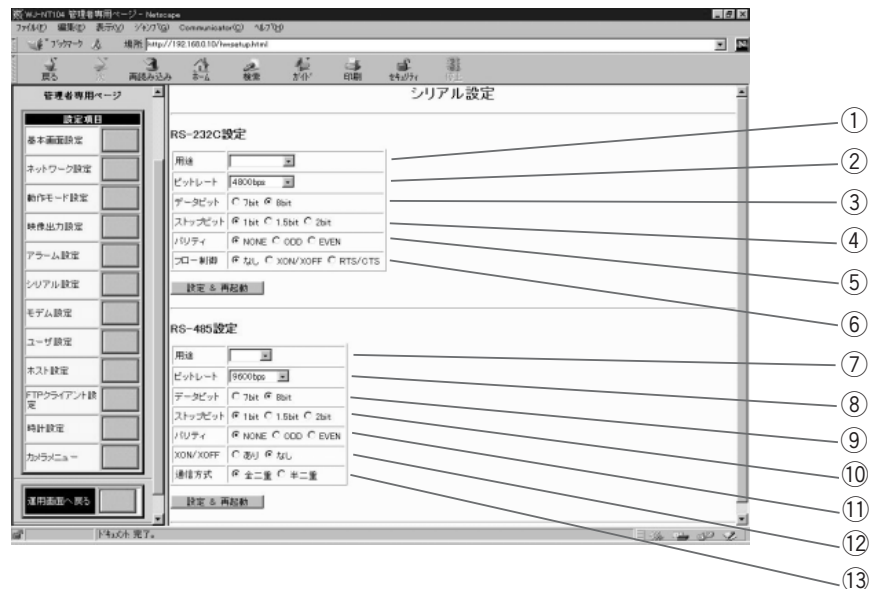
通知先メールアドレスの登録

通知先メールアドレスの削除

- ⑧ポート番号  
後面パネルのアラーム端子番号にあたります。
- ⑨アラーム連動  
アラーム発生に連動して動作する/しないを選択します。
- ⑩カメラチャンネル切替  
アラーム発生時に選択するカメラチャンネルを指定します。
- ⑪プリセット連動  
アラーム発生時にプリセット動作させる位置を指定します。  
プリセット機能付きカメラ接続時にのみ有効です。
- ⑫ディレイタイム  
アラーム発生後、一定時間経過後に画像記録を開始します。
- ⑬アラームタイプ  
アラーム発生をclose/openのどちらにするか指定します。
- ⑭設定  
設定した内容を本機に書き込みます。
- ⑮独自プロトコル通知の有無  
「アラーム受信ソフト」(別売品)をインストールして、アラーム通知機能を使用する際に、「使用する」に設定します。
- ⑯通知先ポート  
「1818」でご使用ください。
- ⑰リトライ回数  
通知失敗時のリトライ回数を設定します。
- ⑱通知先IPアドレスの登録  
アラーム通知を行うパソコンのIPアドレスを指定します。最大16件まで設定可能です。
- ㉑通知先IPアドレスの削除  
アラーム通知先の一覧を表示し、指定したアドレスを一覧から削除します。
- ㉒メール通知の有無  
メール通知を使用する/しないを選択します。
- ㉓サーバアドレス  
本機から直接送信するメールサーバのアドレスを指定します。
- ㉔送信者名  
メールの発信者名に記載される名前(128文字以内、英数小文字)を設定します。
  - ・送信者名@ドメイン名  
<例> nt104@hi-ho.ne.jp
  - ・@以下を指定しない場合は、IPアドレスになります。  
<例> nt104@192.168.0.10
- ㉕通知先メールアドレスの登録  
アラーム通知先のメールアドレスを指定します。最大16件まで設定可能です。
- ㉖通知先メールアドレスの削除  
通知先メールアドレスの一覧を表示し、指定したメールアドレスを一覧から削除します。

# シリアル設定

ハードウェア設定画面で、「シリアル設定」をクリックして、シリアル設定画面に入ります。  
RS-232C,RS-485の用途、通信設定を行います。



## ①用途(RS-232C)

RS-232Cの用途を設定します。なし、モデム/TAが選択できます。  
工場出荷時は、なしに設定されています。

## ②ビットレート(RS-232C)

RS-232Cビットレートを設定します。  
300,1200,2400,4800,9600,14400,19200,38400,57600,115200 bpsが選択できます。  
工場出荷時は、4800 bpsに設定されています。  
56 kbpsモデムをご使用の場合は38400 kbps、TAをご使用の場合は57600 bpsに設定することを推奨します。

## ③データビット(RS-232C)

RS-232Cのデータビットを設定します。  
工場出荷時は、8 bitに設定されています。

## ④ストップビット(RS-232C)

RS-232Cのストップビットを設定します。  
工場出荷時は、1 bitに設定されています。

## ⑤パリティ(RS-232C)

RS-232Cのパリティを設定します。  
工場出荷時は、noneに設定されています。

## ⑥X ON/X OFF(RS-232C)

RS-232Cのフロー制御(X ON/X OFF)を設定します。  
工場出荷時は、なしに設定されています。

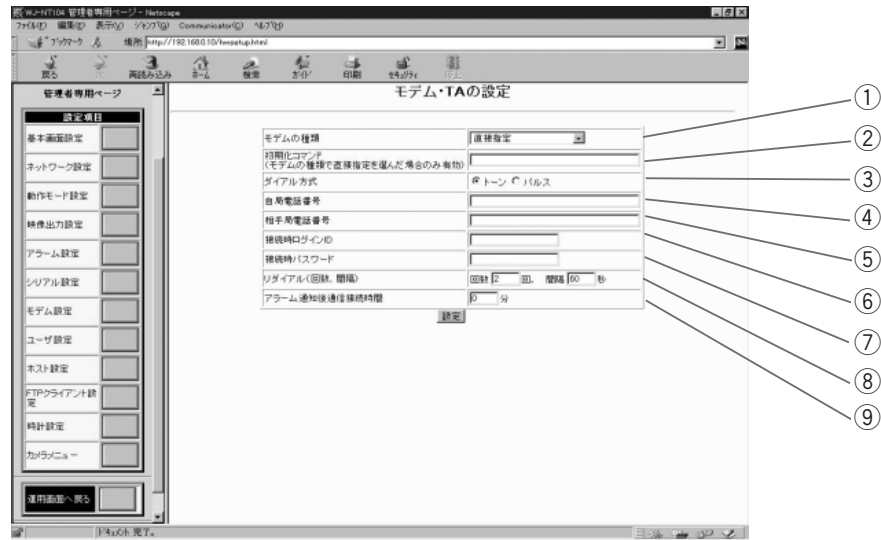
## ⑦用途(RS-485)

RS-485の用途を設定します。なし、カメラが選択できます。  
工場出荷時は、なしに設定されています。

- 
- ⑧ビットレート(RS-485)  
RS-485のビットレートを設定します。  
1200,2400,4800,9600,19200,38400 bpsが選択できます。  
工場出荷時は、4800 bpsに設定されています。
  - ⑨データビット(RS-485)  
RS-485のデータビットを設定します。工場出荷時は、8 bitに設定されています。
  - ⑩ストップビット(RS-485)  
RS-485のストップビットを設定します。工場出荷時は、1 bitに設定されています。
  - ⑪パリティ(RS-485)  
RS-485のパリティを設定します。  
工場出荷時は、noneに設定されています。
  - ⑫X ON/X OFF(RS-485)  
RS-485のフロー制御(X ON/X OFF)を設定します。  
工場出荷時は、なしに設定されています。
  - ⑬通信方式  
RS-485の通信方式を設定します。  
工場出荷時は、全二重に設定されています。

# モデム設定

ハードウェア設定画面で、「モデム設定」をクリックして、モデム・TA設定画面に入ります。  
PPP接続時に使用するモデム・TA(ターミナルアダプタ)の設定を行います。



## ① モデムの種類

モデムの種類を設定します。設定した値により、モデムの初期化コマンドなどが発行されます。  
直接指定、標準的なモデム、Panasonic TO-BXF56K, NEC Atermが選択できます。  
工場出荷時は、直接指定が設定されています。

## ② 初期化コマンド

モデムの種類で直接指定を指定した場合に有効になります。  
モデムのマニュアルをご参照のうえ、初期化コマンドを設定してください。

## ③ ダイヤル方式

使用される電話回線の方式を選択してください。工場出荷時は、トーンに設定されています。

## ④ 自局電話番号

NT104側の電話番号を設定します。

## ⑤ 相手局側電話番号

アラーム通知機能を使用する場合、通知先の電話番号を設定します。

## ⑥ 接続時ログインID

NT104から発呼する場合、接続先のネットワークにログインするためのIDを設定します。

## ⑦ 接続時パスワード

NT104から発呼する場合、接続先のネットワークにログインするためのパスワードを設定します。

## ⑧ リダイヤル

PPP接続に失敗した場合、設定した回数リダイヤルを繰り返します。  
工場出荷時は、回数2回、間隔60秒に設定されています。

## メモ

・モデム/TAの仕様のため、3分以内に3回を超える発信はできません。

## ⑨ アラーム通知後接続時間

アラーム通知のため、NT104から発呼して接続した後で、自動切断するまでの時間が設定できます。本設定の時間のカウントダウンは、アラーム通知処理が完了してからはじまります。  
工場出荷時は、0分に設定されています。



# ユーザー設定

ハードウェア設定画面で、「ユーザー設定」をクリックして、ユーザー設定画面に入ります。  
ユーザーの登録・削除を行います。



## ① ユーザー認証

ユーザー認証をする/しないを設定します。

ユーザー認証をしないに設定した場合も、管理者専用ページへのアクセスと、FTP機能、PPP接続(本機への発呼)を使用する場合は、ユーザー認証が必要です。

工場出荷時は、使用しないに設定されています。

## ② ユーザー登録

ユーザー名、パスワード、アクセスレベルを設定します。ユーザー名およびパスワードは、最大16文字、英大小文字、数字、記号などの1バイトの入力可能文字が設定可能です。英字の大文字、小文字は区別します。

アクセスレベルは、1～4までのいずれかを設定します。すでに登録済みのユーザーのパスワードやアクセスレベルを変更するには、新規ユーザーと同じように設定し、登録ボタンを押すと、設定情報が上書きされます。

ユーザー認証に関しては、「[アクセス制限機能](#)」をご参照ください。

## ③ ユーザーの削除

ユーザーを選択し、[削除]ボタンを押すと、登録済みのユーザーを削除します。

なお、現在登録されているユーザーの一覧を見るためには、本プルダウンリストを表示して見ることができます。[ ]内の数字はアクセスレベルです。

# ホスト設定

ハードウェア設定画面で、「ホスト設定」をクリックして、ホスト設定画面に入ります。  
ユーザー認証なしで、アクセス可能なホストの登録・削除を行います。



## ①ホスト認証

ホスト認証をする/しないを設定します。  
工場出荷時は、使用しないに設定されています。

## ②ホスト登録

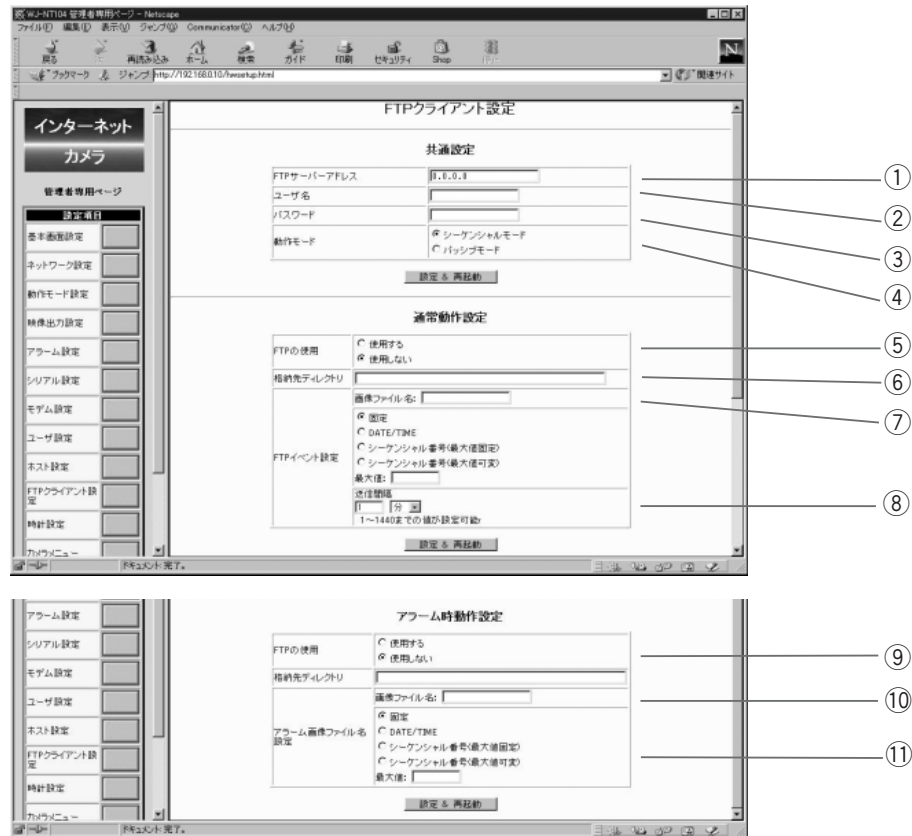
ホストのIPアドレス、アクセスレベルを設定します。アクセスレベルは、1～4のいずれかを設定します。すでに登録済みのホストのアクセスレベルを変更するには、新規登録時と同じように設定し、[登録]ボタンを押すと、アクセスレベルが変更できます。  
ホスト認証に関しては、「[アクセス制限機能](#)」をご参照ください。

## ③ホストの削除

ホストを選択し、[削除]ボタンを押すと、登録済みのホストを削除します。  
なお、現在登録されているホストの一覧を見るためには、本プルダウンリストを表示して見ることができます。  
[ ]内の数字は、アクセスレベルです。

# FTPクライアント設定

ハードウェア設定画面で、「FTPクライアント設定」をクリックし、FTPクライアント設定画面に入ります。アラーム時動作設定は、WJ-NT104のアラームモードの設定に従って動作します。



- ① FTPサーバーアドレス  
FTPによる画像データのアップロードを行う、FTPサーバーのIPアドレスを設定します。
- ② ユーザー名  
FTPサーバーにログインするための、ユーザー名を設定します。
- ③ パスワード  
FTPサーバーにログインするための、ユーザー名に対応するパスワードを設定します。
- ④ 操作モード  
FTPクライアントによるアップロードモードを設定します。  
 シーケンシャルモード : デフォルトのデータポートへアップロードを行います。  
 パッシブモード : パッシブモードにより指定されたデータポートへアップロードを行います。

## メモ

- ・ デフォルトポートを使用しないFTPサーバーの場合、パッシブモードでご使用ください。

## 通常動作設定

- ⑤ FTPの使用  
FTPによる定期送信を使用する / しないを選択します。
- ⑥ 格納先ディレクトリ  
定期送信を行う画像データを格納する、FTPサーバーのディレクトリを絶対パスで指定します。

# FTPクライアント設定

## ⑦FTPイベント設定 画像ファイル名

x (固定ファイル名) \*\*\*\*\*.jpgのように指定します。

\*\*\*\*\*に指定する内容は下記を参照してください。

x: カメラCH番号 (1~4) 1ch固定、4 to 1、4 to 4、全てのモードで付けます。

[ 固定 ] \*\*\*\*\*部分なし。

[ DATE / TIME ] 月日時分秒年(2桁)を付加します。MMDDhhmmssYY

[ シーケンシャル番号 ( 最大値固定 ) ] 00001 ~ 65535の番号を付加します。

[ シーケンシャル番号 ( 最大値可変 ) ] 1から付加された最大値まで番号を繰り返し付加します。  
最大値 ( 65535 ) 以上を設定した場合、はじかれます。

## ⑧FTPイベント設定 送信間隔

FTPによる定期送信の送信間隔を設定します。

送信間隔は、秒 ( 0.2 ~ 3600 ) または分 ( 1 ~ 1440 ) 単位で指定できます。

0.2秒 ~ 1.0秒までは、0.1秒間隔で設定できます。それ以上は、1秒単位で設定します。

[ 例 ] 1分30秒の場合 : 90秒  
2時間の場合 : 120分

### メモ

- ・分と秒を組み合わせた指定はできません。
- ・回線レートによって、設定した送信間隔通りにアップロードできない場合があります。

## アラーム時動作設定

### ⑨FTPの使用

FTPによるアラーム時送信を使用する / しないを選択します。

### ⑩格納先ディレクトリ

アラーム時送信を行う画像データを格納する、FTPサーバーのディレクトリを絶対パスで指定します。

### メモ

- ・アラームモード ( 1ショット記録、連続記録(afterのみ)、連続記録(after / before) ) に合わせた画像データの送信が可能です。通常動作設定とアラーム時動作設定の格納先ディレクトリを変えることで、定期送信とアラーム時送信の画像データを別ディレクトリに保存することができます。

### ⑪アラーム画像ファイル名設定

x (固定ファイル名) \*\*\*\*\*.jpgのように指定します。

\*\*\*\*\*に指定する内容は下記を参照してください。

x: カメラCH番号 (1~4) 1ch固定、4 to 1、4 to 4、全てのモードで付けます。

[ 固定 ] \*\*\*\*\*部分なし。

[ DATE / TIME ] 月日時分秒年(2桁)を付加します。MMDDhhmmssYY

[ シーケンシャル番号 ( 最大値固定 ) ] 00001 ~ 65535の番号を付加します。

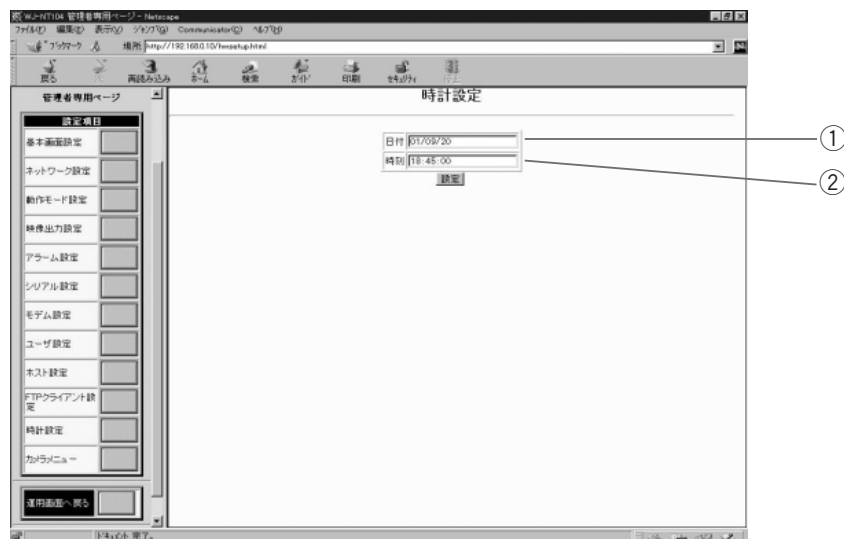
[ シーケンシャル番号 ( 最大値可変 ) ] 1から付加された最大値まで番号を繰り返し付加します。  
最大値 ( 65535 ) 以上を設定した場合、はじかれます。

### メモ

- ・使用できるFTPサーバーは、Windows 2000、Windows NT、Free BSD、Turbolinux、Red Hat Linuxです。

# 時計設定

ハードウェア設定画面で、「時計設定」をクリックして、時計設定画面に入ります。  
機器の内蔵時計を設定します。



## ①日付設定

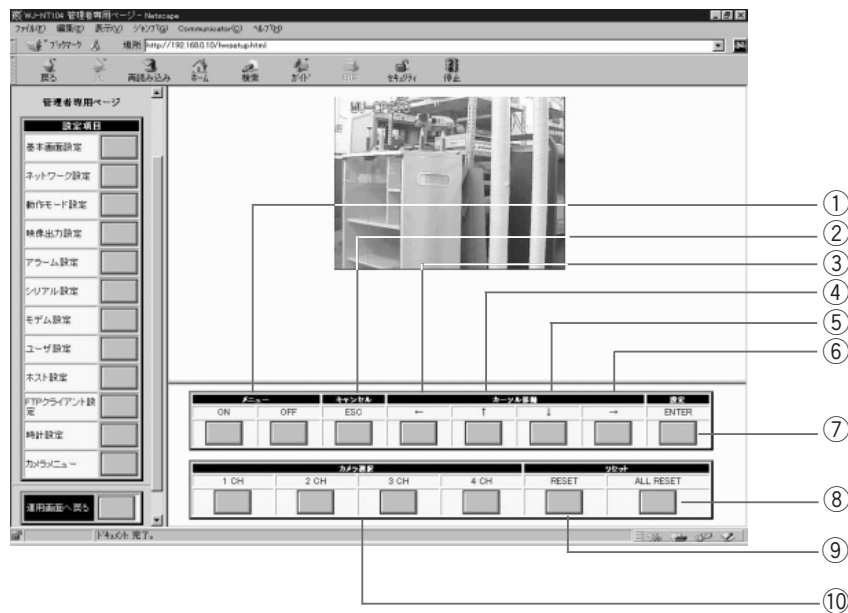
YY/MM/DDの書式(例 1999年1月23日の場合、99/01/23)のように設定します。  
画面には、本画面を取り出したときの日付が表示されます。

## ②時刻設定

HH:MM:SSの書式(例 12時03分45秒の場合、12:03:45)のように設定します。  
時刻は、24時間制で設定してください。  
画面には、本画面を取り出したときの日付が表示されます。

# カメラメニュー

ハードウェア設定画面で、「カメラメニュー」をクリックして、カメラメニュー画面に入ります。  
カメラメニュー機能は、4 to 1チャンネル切替モードおよび1チャンネル固定モード時に使用できます。  
4 to 4マルチチャンネルモード時は、使用できません。  
カメラメニューを使い、カメラ(別売品)の設定を遠隔から行うことができます。  
カメラメニューの個々の機能については、カメラに付属の説明書をご参照ください。



- ①メニューON/OFF  
カメラメニューのON/OFFを行います。
- ②キャンセル  
1階層上のメニューへ移動します。
- ③  
カーソルを左に移動します。また、設定内容の切替えおよびレベルの調整ができます。
- ④  
カーソルを上を移動します。
- ⑤  
カーソルを下に移動します。
- ⑥  
カーソルを右に移動します。また、設定内容の切替えおよびレベルの調整ができます。
- ⑦設定[ENTER]  
設定内容を確定します。また、設定メニュー画面を切り替えます。
- ⑧ALL RESET  
特別メニュー内のCAMERA RESETにカーソルを合わせ、クリックすると、カメラの設定内容が全て解除されます。
- ⑨RESET  
特別メニューのクロマレベルなどのレベルを初期状態に戻します。メニュー画面上のSPECIALにカーソルを合わせ、クリックすると特別メニューに入ることができます。
- ⑩カメラ選択  
接続しているカメラの選択を行います。

# ユーティリティソフトについて

## ネットワーク設定

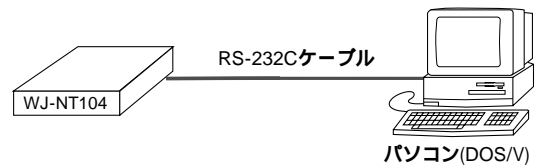
付属のソフトウェアを使用して、本機のRS-232CポートからIPアドレスの設定を行います。

### 接続のしかた

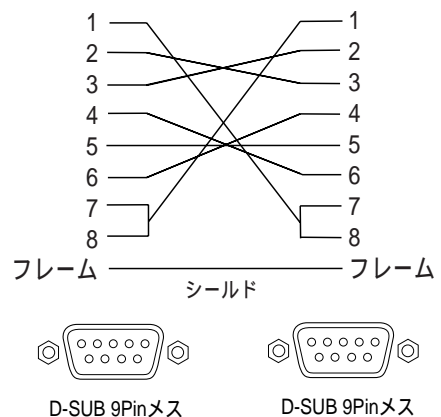
設定はRS-232CポートのCOM1を用いて行います。

RS-232Cポートを有する、Windows95/Windows98/WindowsNT4.0のいずれかがインストールされたDOS/Vパソコンをご使用ください。

ユーティリティソフトのTOOLディレクトリの下にあるReadme.txtをご参照の上、インストールしてください。



- ①本機の前面パネルをあげ、RS-232Cクロスケーブルでパソコンと接続します。
- ②本機のモード設定スイッチSW7とSW9をONにします。
- ③パソコンのスタートメニュープログラム NT104Setupを選択し、設定用プログラムを起動する。
- ④IPアドレスを設定する場合は、右記画面のIPアドレスの欄に設定するアドレス入力後、[設定]ボタンを押す。NT104応答欄に「REI:C0A8000A」(設定アドレス192.168.0.10の場合)のように、応答コマンドREIと設定したアドレス(16進数表記8文字)が表示されれば正常に設定できています。他の値が表示される場合は、再度[設定]ボタンを押してください。
- ⑤ネットマスクの設定も同様に、右記画面のネットマスクの欄に設定値入力後、[設定]ボタンを押す。NT104応答欄に「REM:FFFFFF00」(設定値255.255.255.0の場合)のように、応答コマンドREMと設定したアドレス(16進数表記8文字)が表示されれば正常に設定できています。他の値が表示される場合は、再度[設定]ボタンを押してください。
- ⑥デフォルトGWの設定も同様に、右記画面のIPアドレスの欄に設定値入力後、[設定]ボタンを押す。NT104応答欄に「REG:C0A80001」(設定値192.168.0.1の場合)のように、応答コマンドREGと設定したアドレス(16進数表記8文字)が表示されれば正常に設定できています。他の値が表示される場合は、再度[設定]ボタンを押してください。
- ⑦全て設定が終了したら、[終了]ボタンを押す。
- ⑧本機のモード設定スイッチを全てOFFにし、リセットスイッチを押す。  
通常運用モードで起動します。



# ユーティリティソフトについて

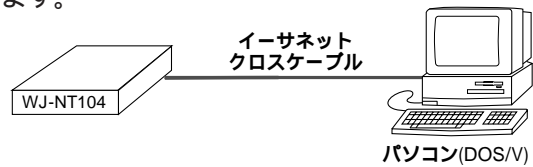
## 設定の確認方法

本機のモード設定スイッチを全てOFFにしてから、電源を再起動します。

再起動後に、設定したアドレスなどが有効になります。

Pingコマンドによる通信の確認は下記の手順で行います。

- ①本機とパソコンを接続する。



- ②MS-DOSプロンプトウィンドウを起動して、以下のコマンドで通信の確認をする。

```
C: ¥Windows > ping 192.168.0.10 (本機のアドレスが192.168.0.10 の場合)
```

- 下記のように、本機から返答があれば、正常に設定されています。

```
Pinging 192.168.0.10 With 32 bytes of date :
```

```
Reply from 192.168.0.10 : bytes = 32 time = 1ms TTL = 255
```

```
Reply from 192.168.0.10 : bytes = 32 time = 1ms TTL = 255
```

```
Reply from 192.168.0.10 : bytes = 32 time = 1ms TTL = 255
```

```
Reply from 192.168.0.10 : bytes = 32 time = 1ms TTL = 255
```

- 下記のように、本機から返答がない場合は、設定できていない場合が考えられます。  
設定手順を再度実行してください。

```
Pinging 192.168.0.10 With 32 bytes of date :
```

```
Request timed out.
```

```
Request timed out.
```

```
Request timed out
```

```
Request timed out.
```

- 下記のように、文章が画面に表示される場合は、パソコンのネットワーク設定が間違っている場合が考えられます。

パソコンのネットワーク設定を変更(例 : IPアドレスを192.168.0.2,サブネットマスクを255.255.255.0にする)してから、再度Pingコマンドを実行してください。

```
Pinging 192.168.0.10 With 32 bytes of date :
```

```
Destination host unreachable.
```

```
Destination host unreachable.
```

```
Destination host unreachable.
```

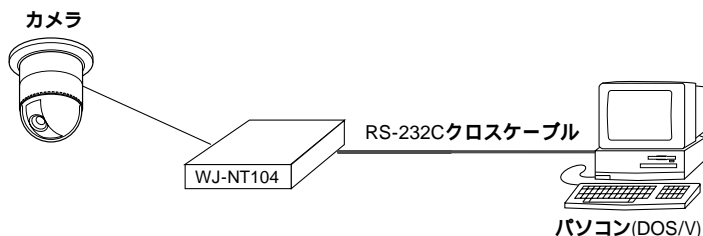
```
Destination host unreachable.
```



## カメラメニュー設定

### ● 機能

WV-CS850,CS850A(別売品)のカメラメニューをコントロールするソフトウェアです。  
本機に同軸ケーブルで接続したカメラのメニューを開き、プリセットポジションなどのカメラの設定  
ができます。



### ● 使用方法

- ①本機の前面パネルをあげ、RS-232Cクロスケーブルでパソコンと接続します。
- ②本機のモード設定スイッチSW7とSW9をONにします。
- ③タスクバーメニューより、「カメラメニュー-Setup」を起動します。



- ④「カメラch」を選択します。
- ⑤[MENU ON/OFF]ボタンを押して、メニューを表示します。  
メニューが表示されない場合は、繰り返しボタンを押してください。
- ⑥カーソル(上下左右)キー、Enter、Escなどのボタンを使い、メニューの移動、設定の実行ができます。メニューの操作および設定方法に関しては、各カメラの取扱説明書をご参照ください。
- ⑦「Special」キーは、カメラメニューの「Special」の上にカーソルを移動したときのみ実行できません。
- ⑧[カメラ制御]ボタンを押すと、同軸カメラ制御用パネルが表示される。  
カメラメニューが「ポジション設定メニュー画面」の時にのみ、PAN/TILT、ZOOM、FOCUSの操作ができます。



- ⑨操作を終了する場合は、[終了]ボタンを押してください。
- ⑩本機のモード設定スイッチを全てOFFにし、リセットスイッチを押します。

# アクセス制限機能

## アクセス権管理方法

以下の手順で、ユーザーのアクセス権管理を行います。

### アクセス制限なしの場合

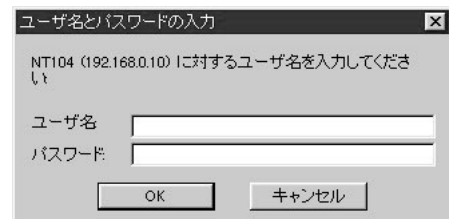
「ユーザー認証」および「ホスト認証」を共に「使用しない」と設定した場合、全てのユーザーがレベル2でアクセス可能になり、下記の操作が可能になります。

- ・本機に接続する機器(カメラなど)の制御
- ・ライブ映像のモニタリング
- ・アラーム映像のモニタリング、ログの参照
- ・本機に記憶するコンテンツへのアクセス

本機の管理者ページへは、管理者のアカウントが必要です。

### アクセス制限ありの場合

- ・ホスト管理テーブルを参照し、ホストのアクセスレベルに応じてアクセス制限がかかります。ホスト管理テーブルを参照する際に、本機へ要求のあったホストのIPアドレスを使用しているため、プロキシサーバー経由でアクセスする場合は、プロキシサーバーのIPアドレスにより、アクセスレベルが決まります。
- ・ホスト管理テーブルに記録されていない端末から、アクセスがあった場合は、ユーザー名とパスワード入力を求めるダイアログが表示されます。(右画面) 入力したユーザー名およびパスワードに応じて、アクセスレベルが決まります。



## アクセスレベル

以下の4つのレベルに分けて、ユーザーを管理することができます。

同一レベルのユーザーは複数設定することができます。機器制御などの命令は、最優先で実行され、レベルによる実行の優先はありません。また、管理者を複数設定することも可能で、同時に設定変更をすることもできます。

### 管理者レベル (レベル1)

- ・管理者ページへのアクセスおよび各種設定が可能
- ・FTPを使用して本機内に記憶するコンテンツの書き換えが可能
- ・本機に接続する機器(カメラなど)の制御
- ・ライブ映像のモニタリング
- ・アラーム映像のモニタリング、ログの参照
- ・本機に記憶するコンテンツへのアクセス

### 機器制御可能レベル (レベル2)

- ・本機に接続する機器(カメラなど)の制御
- ・ライブ映像のモニタリング
- ・アラーム映像のモニタリング、ログの参照
- ・本機に記憶するコンテンツへのアクセス

---

## モニタリング可能レベル (レベル3)

- ・ライブ映像のモニタリング
- ・アラーム映像のモニタリング、ログの参照
- ・本機に記憶するコンテンツへのアクセス

## アクセス不可 (レベル4)

- ・本機へのアクセスはできません。

## 登録方法

ホスト管理テーブルとユーザー管理テーブルへの登録は、管理者レベル(レベル1)のユーザーのみが行うことができます。各テーブルの設定は、専用の設定画面から行います。

工場出荷時は、ユーザー名: admin、パスワード: (なし)、レベル: 1 のユーザーが登録されています。ユーザーadminは、パスワードの変更はできますが、ユーザーの削除、レベルの変更はできません。

### ホスト管理テーブル

ホスト管理テーブルには、最大16個の端末アドレスが設定できます。

本テーブルの初期状態は、全く設定されていない状態です。

ホストアドレスは、IPアドレスを「192.168.0.10」のように10進数表記、区切り記号ピリオド(.)で指定し、ホスト名での指定はできません。また、ホストアドレスに「0.0.0.0」を指定した場合は無効になります。アクセスレベルは、1~4のいずれかの値を設定します。

### ユーザー管理テーブル

ユーザー管理テーブルには、最大16名のユーザーが登録できます。

ユーザー名、パスワードは、最大16文字まで、英大文字、英小文字、数字、記号などのキーボードから入力可能な1バイト文字が設定可能です。また、大文字小文字は区別して処理します。

アクセスレベルは、1~4のいずれかの値を設定します。

# コンテンツアップロード機能

FTP(File Transfer Protocol)を用いて、コンテンツのアップロードができます。  
以下に、パソコンなどで作成したコンテンツのアップロード方法を示します。

## ファイルアップロード手順

以下の手順で、パソコンなどで作成したコンテンツのアップロードを行います。

- ①Windows95/Windows98上で、MS-DOSプロンプトを起動し、DOS画面を開く。
- ②DOS上でFTPコマンドを入力し、FTPを起動する。  
起動時に、本機のIPアドレスを続けて入力します。  
C:¥CONTENTS>FTP 192.168.0.10
- ③ユーザーアカウントの入力要求に対して、管理者レベル(レベル1)のユーザーでログインする。  
User (192.168.0.10 : (none)) : admin
- ④パスワードを入力する。  
Password :
- ⑤ログイン後、binコマンドを入力し、バイナリ転送モードに設定する。  
ftp>bin
- ⑥putコマンドでファイルをアップロードする。  
ftp>put upload.html
- ⑦転送が全て終了した後、quitコマンドを入力し、ftpを終了する。  
ftp>quit

### メモ

複数のファイルを転送する場合は、promptコマンドでインタラクティブモードを解除し、mputコマンドでファイル名にワイルドカードを使用して、複数のファイルをまとめて転送することができます。

```
ftp>prompt
Interactive mode off.
ftp>mput *.html
```

## コンテンツ記憶領域について

- ・FTPを用いてアップロードしたHTMLなどのコンテンツファイルは、本機のFLASH ROM内に記憶するため、電源を切っても消えることはありません。ただし、バージョンアップ時や、初期化(モード設定スイッチの2をONにして、再起動した場合)は、初期状態に戻りますので、必ずバックアップをとってください。
- ・コンテンツの記憶領域にディレクトリを作成することはできません。
- ・コンテンツファイル名の大文字、小文字は区別しません。

記憶可能容量 : 合計約1.5Mバイト

記憶可能ファイル : 最大650個

ただし、上記の数字は、個々のファイルサイズ、記憶領域の使用状況によって変わります。

# HTML記述による制御方法

HTMLファイルによって記述されたコマンドをWWWブラウザから実行することにより、映像表示、カメラ操作、アラーム画像参照などの各種機能の操作が可能になります。

本機では、以下に説明する各種機能を、CGI(Common Gateway Interface)関数として実現しています。関数を使用する場合は、以下の構文を使用します。

構文 : `http://<IPアドレス>/<CGI関数>?<パラメーター>=<値>[&<パラメーター>=<値>...]`

## 映像表示

### 映像表示に関するCGI関数

| CGI項目名        | URL             | パラメーター名 | パラメーター値 | 説明  |
|---------------|-----------------|---------|---------|---|
| PULL型<br>映像取得 | /cgi-bin/camera | CH      | 1 ~ 4   | 最新のカメラ映像を1フレーム取得する。<br>パラメーターCHは、<br>4to1,1chモード時：無視(省略可)<br>4 to 4 モード時：必須     |
| PUSH型<br>映像取得 | /cgi-bin/push   | CH      | 1 ~ 4   | Netscape用Push型映像取得コマンド。<br>パラメーターCHは、<br>4to1,1chモード時：無視(省略可)<br>4 to 4 モード時：必須 |
| チャンネル番号<br>変換 | /cgi-bin/chconv | CH      | 1 ~ 4   | %cを変換するチャンネル(必須)  |
|               |                 | FILE    | ファイル名   | 変換するファイル名(必須)   |

### HTMLサンプルファイル [ mainview1.html ]

```
<HTML>
<HEAD></HEAD>
<BODY BGCOLOR= " #FFFFFF " >
  <CENTER>
    <SCRIPT LANGUAGE= " JavaScript " >
      width=%W
      height=%H
      function loadcamera() {
        myDate = new Date();
        document.CamImg.src= " /cgi-bin/camera?CH=%c&PAGE= " + myDate.getTime();
      }
      myDate = new Date();
      document.write( " <IMG SRC=/cgi-bin/camera?CH=%c&PAGE= " +myDate.getTime()+ "
      NAME=CamImg
      onLoad=¥ " TimerID=setTimeout( ' loadcamera() ', %i);¥ "
      onError=¥ " TimerID=setTimeout( ' loadcamera() ', %i);¥ "
      WIDTH= " +width+ " HEIGHT= " +height+ " VSPACE=5></A> " );
    </SCRIPT>
  </CENTER>
</BODY>
</HTML>
```

- ① Javascriptを使用して、最新画像を呼び出すための関数です。
- ② PULL型で最新画像を、%iで変換される時間間隔(単位ミリ秒)で要求します。  
引数のPAGEは、キャッシュを無効にするために付加しています。

# HTML記述による制御方法

## HTMLサンプルファイル [ nsmainview1.html ]

```

<HTML>
<HEAD></HEAD>
<BODY BGCOLOR= " #FFFFCC " >
  <CENTER>
    <SCRIPT LANGUAGE= " JavaScript " >
      width=%W
      height=%H
      myDate = new Date();
      document.write( " <IMG SRC=/cgi-bin/push?CH=%c&PAGE= " +myDate.getTime()+ "
                        WIDTH= " +width+ " HEIGHT= " +height+ " VSPACE=5></A> " );
    </SCRIPT>
  </CENTER>
</BODY>
</HTML>

```

1

1 PUSH型の画像取得要求を行います。

引数のPAGEは、キャッシュを無効にするために付加しています。

## カメラ操作

### カメラ操作に関するCGI関数

WV-CS850,CS850A (別売品)を下記のコマンドを使用して操作することができます。

また、下記のコマンドは同時に指定することができます。(例) PANとTILTは、組み合わせ使用できます。

| CGI項目名 | URL              | パラメーター名  | パラメーター値  | 説明  |
|--------|------------------|--|----------|---|
| カメラ制御  | /cgi-bin/camctrl | CHSEL  | 1 ~ 4    | 映像チャンネルの切り換え。<br>4to1 : 有効 4to4,1ch : 無効  |
|        |                  | CH   | 1 ~ 4    | 4to4マルチチャンネルモードの場合、制御するカメラを指定する。<br>4to1,または1ch固定モードの場合、指定しても無効になり、表示中のCHに対してコマンドが動作する。 |
|        |                  | PRESET   | 0 ~ 64   | 0 : ホームポジション呼び出し<br>1 ~ 64 : プリセットポジション呼び出し   |
|        |                  | PAN  | -10 ~ 10 | PAN&STOP<br>負 : LEFT、正 : RIGHT。<br>移動距離は、絶対値に比例する。                                      |
|        |                  | TILT   | -10 ~ 10 | TILT&STOP<br>負 : DOWN、正 : UP。<br>移動距離は、絶対値に比例する。  |
|        |                  | ZOOM   | -10 ~ 10 | ZOOM<br>負 : WIDE、正 : TELE。<br>変化量は、絶対値に比例する。  |
|        |                  | ATPAN  | on,off   | オートパンのON/OFF  |
|        |                  | AF   | on       | オートフォーカス  |
|        |                  | FOCUS  | -10 ~ 10 | フォーカス<br>負 : NEAR、正 : FAR。<br>変化量は、絶対値に比例する。  |
|        |                  | IRIS   | -10 ~ 10 | アイリス<br>負 : CLOSE、正 : OPEN、0 : RESET。<br>変化量は、絶対値に比例する。                                 |
| FILE   | ファイル名            | カメラ制御後に画面上の表示を変えたい場合、表示するファイル名を指定する。省略時は、表示画面は変わらない。 |          |   |

## HTMLサンプルファイル [ mainpanel1.html ]

```
<HTML>
<HEAD></HEAD>
<BODY BGCOLOR= " #FFFFCC " >
<CENTER>
<!-- ログ表示 -->
<IMG SRC=/nt10logo.jpg VSPACE=8>
<SCRIPT LANGUAGE= " JavaScript " >
mode=%m      <!-- 4to1=0,1ch固定=1,4to4=2>

if(mode == 0) <!-- 4to1の場合のみ有効 -->
{
<!-- CH選択機能 -->
document.write( " 4to1 セレクトモード " )
document.write( " <P><TABLE BORDER=2 BORDERCOLOR=black WIDTH=90% BGCOLOR=#DCFEFF> " )
document.write( " <TR> " )
document.write( " <TH BORDER=2 COLSPAN=4 BGCOLOR=black><FONT SIZE=3 COLOR=#DCFEFF> " )
document.write( " カメラ選択</TH> " )
document.write( " </FONT></TR> " )
document.write( " <FONT SIZE=4> " )
document.write( " <TR> " )
document.write( " <TD> 1 </TD><TD><A HREF=% " /cgi-bin/camctrl?CHSEL=1% " >
<IMG SRC=% " button.jpg% " ></A></TD> " )
document.write( " <TD> 2 </TD><TD><A HREF=% " /cgi-bin/camctrl?CHSEL=2% " >
<IMG SRC=% " button.jpg% " ></A></TD> " )
document.write( " </TR> " )
document.write( " <TR> " )
document.write( " <TD> 3 </TD><TD><A HREF=% " /cgi-bin/camctrl?CHSEL=3% " >
<IMG SRC=% " button.jpg% " ></A></TD> " )
document.write( " <TD> 4 </TD><TD><A HREF=% " /cgi-bin/camctrl?CHSEL=4% " >
<IMG SRC=% " button.jpg% " ></A></TD> " )
document.write( " </TR> " )
document.write( " </FONT> " )
document.write( " </TABLE> " )
}
else if(mode == 2) <!-- 4to4の場合のみ有効 -->
{
document.write( " 4to4 マルチアクセスモード " )
<!-- CH選択機能 -->
document.write( " <P><TABLE BORDER=2 BORDERCOLOR=black width=90% BGCOLOR=#DCFEFF> " )
document.write( " <TR> " )
document.write( " <TH BORDER=2 COLSPAN=4 BGCOLOR=black><FONT SIZE=3 COLOR=#DCFEFF> " )
document.write( " カメラ選択</TH> " )
document.write( " </FONT></TR> " )
document.write( " <TR><FONT SIZE=4> " )
document.write( " <TD> 1 </TD><TD><A HREF=% " /cgi-bin/chconv?CH=1&FILE=mainview.html% "
TARGET=% " mainview% " onClick=% " parent.frames[2].location.href= ' /cgi-bin/chconv?CH=1&
FILE=camctrl.html ' ;% " ><IMG SRC=% " /button.jpg% " ></A></TD> " )
```

1

2

# HTML記述による制御方法

```
document.write( " <TD> 2 </TD><TD><A HREF=% " /cgi-bin/chconv?CH=2&FILE=mainview.html% "
    TARGET=% " mainview% " onClick=% " parent.frames[2].location.href= ' /cgi-bin/chconv?CH=2&
    FILE=camctrl.html ' ;% " ><IMG SRC=% " /button.jpg% " ></A></TD> " )
document.write( " </TR> " )
document.write( " <TR> " )
document.write( " <TD> 3 </TD><TD><A HREF=% " /cgi-bin/chconv?CH=3&FILE=mainview.html% "
    TARGET=% " mainview% " onClick=% " parent.frames[2].location.href=
    ' /cgi-bin/chconv?CH=3&
    FILE=camctrl.html ' ;% " ><IMG SRC=% " /button.jpg% " ></A></TD> " )
document.write( " <TD> 4 </TD><TD><A HREF=% " /cgi-bin/chconv?CH=4&FILE=mainview.html% "
    TARGET=% " mainview% " onClick=% " parent.frames[2].location.href=
    ' /cgi-bin/chconv?CH=4&
    FILE=camctrl.html ' ;% " ><IMG SRC=% " /button.jpg% " ></A></TD> " )
document.write( " </FONT></TR> " )
document.write( " </TABLE> " )

<!-- 4画面表示 -->
document.write( " <P><table border=3 bordercolor=black width=90% BGCOLOR=#DCFEFF> " )
document.write( " <tr> " )
document.write( " <TD BGCOLOR=black width=66% ><font SIZE=3 color=#DCFEFF> " )
document.write( " 4画面表示</TD> " )
document.write( " <td><a href=% " /index4.html% " target=% " _top% " ><IMG SRC=
    % " /button.jpg% " ></a></td> " )
document.write( " </tr> " )
document.write( " </table> " )
}
</SCRIPT>
</CENTER>
<HR>
</BODY>
</HTML>
```

- ① 4 to 1セレクトモード時にチャンネルを切り替える場合は、引数CHSELに値をセットして、CGI関数 camctrlを実行します。
- ② 4 to 4マルチアクセスモード時にチャンネルを切り替える場合は、mainview.htmlとcamctrl.htmlにチャンネルの変更を通知するため、chconv関数を使用します。
- ③ 4画面同時表示へのリンクです。4画面同時表示へのリンクボタンは、4 to 4マルチアクセスモード時のみ表示されます。



## HTMLサンプルファイル2 [ camctrl.html ]

```
<HTML>
<BODY BGCOLOR= " #FFFFCC " >
<CENTER>
<TABLE BORDER=3 width=95% BORDERCOLOR=black BGCOLOR= " #DCFEFF " >
  <TR>
    <TH BORDER=3 COLSPAN=2 BGCOLOR=black><FONT SIZE=2 COLOR= " #DCFEFF " >
      ZOOM </FONT></TH>
    <TH BORDER=3 COLSPAN=3 BGCOLOR=black><FONT SIZE=2 COLOR= " #DCFEFF " >
      FOCUS </FONT></TH>
    <TH BORDER=3 COLSPAN=3 BGCOLOR=black><FONT SIZE=2 COLOR= " #DCFEFF " >
      IRIS </FONT></TH>
    <TH BORDER=3 COLSPAN=2 BGCOLOR=black><FONT SIZE=2 COLOR= " #DCFEFF " >
      AUTOPAN</FONT></TH>
    <TH BORDER=3 COLSPAN=1 BGCOLOR=black><FONT SIZE=2 COLOR= " #DCFEFF " >
      PRESET </FONT></TH>
  </FONT></TR>
  <TR ALIGN= " center " >
    <TD>TELE</TD> <TD>WIDE </TD> <TD>FAR </TD> <TD>AUTO</TD> <TD>NEAR</TD>
    <TD>OPEN</TD> <TD>CLOSE</TD> <TD>RESET</TD> <TD>ON </TD> <TD>OFF </TD>
    <TD> </TD>
  </TR>
  <TR ALIGN= " center " >
    <TD><A HREF= " /cgi-bin/camctrl?CH=%c&ZOOM=5 " > <IMG SRC= " /button.jpg " ></A></TD>
    <TD><A HREF= " /cgi-bin/camctrl?CH=%c&ZOOM=-5 " > <IMG SRC= " /button.jpg " ></A></TD>
    <TD><A HREF= " /cgi-bin/camctrl?CH=%c&FOCUS=5 " > <IMG SRC= " /button.jpg " ></A></TD>
    <TD><A HREF= " /cgi-bin/camctrl?CH=%c&AF=on " > <IMG SRC= " /button.jpg " ></A></TD>
    <TD><A HREF= " /cgi-bin/camctrl?CH=%c&FOCUS=-5 " > <IMG SRC= " /button.jpg " ></A></TD>
    <TD><A HREF= " /cgi-bin/camctrl?CH=%c&IRIS=5 " > <IMG SRC= " /button.jpg " ></A></TD>
    <TD><A HREF= " /cgi-bin/camctrl?CH=%c&IRIS=-5 " > <IMG SRC= " /button.jpg " ></A></TD>
    <TD><A HREF= " /cgi-bin/camctrl?CH=%c&IRIS=0 " > <IMG SRC= " /button.jpg " ></A></TD>
    <TD><A HREF= " /cgi-bin/camctrl?CH=%c&ATPAN=on " > <IMG SRC= " /button.jpg " ></A></TD>
    <TD><A HREF= " /cgi-bin/camctrl?CH=%c&ATPAN=off " ><IMG SRC= " /button.jpg " ></A></TD>
    <TD>
      <FORM ACTION= " /cgi-bin/camctrl " >
        <INPUT TYPE= " hidden " NAME= " CH " VALUE= " %c " >
        <SELECT NAME= " PRESET " >
        <SCRIPT LANGUAGE= " JavaScript " >
          for(i=1 ;i<=64; i++)
            document.writeln( " <OPTION> " +i)
        </SCRIPT>
        </SELECT><BR>
        <FONT SIZE=3><INPUT TYPE=SUBMIT VALUE= " セット " ></FONT>
      </FORM>
    </TD>
  </TR>
</TABLE>
</CENTER>
</BODY>
</HTML>
```

1

2

3

4

5

# HTML記述による制御方法

- ① %c で指定されるチャンネルに接続したカメラ(別売品)のズームの変更を行います。  
正の値がTELE、負の値がWIDEを表します。
- ② %c で指定されるチャンネルに接続したカメラ(別売品)のフォーカスの変更を行います。  
正の値がFAR、負の値がNEARを表します。AFはオートフォーカスです。
- ③ %c で指定されるチャンネルに接続したカメラ(別売品)のアイリスの変更を行います。  
正の値がOPEN、負の値がCLOSEを表します。0はリセットです。
- ④ %c で指定されるチャンネルに接続したカメラ(別売品)のオートパンのON/OFFを行います。
- ⑤ %c で指定されるチャンネルに接続したカメラ(別売品)のプリセットポジション(1~64)の呼び出しを行います。

## アラーム操作

### アラームに関するCGI関数

本機に記録したアラーム画像やログは、下記のコマンドを使用して参照することができます。

| CGI項目名       | URL              | パラメーター名 | パラメーター値           | 説明   |
|--------------|------------------|---------|-------------------|--|
| アラーム<br>ログ一覧 | /cgi-bin/almlog  | TARGETI | HTML<br>フレーム名     | アラーム画像表示ターゲット名<br>(省略時は新規ウインドウ作成)          |
|              |                  | TARGETC | HTML<br>フレーム名     | アラーム画像制御フレームターゲット名<br>(省略時は制御フレーム使用不可)     |
|              |                  | BGCOLOR | 000000<br>~FFFFFF | 背景色(16進数6桁またはHTMLの色名)<br>(省略時はブラウザのデフォルト色) |
|              |                  | IMGHTML | ファイル名             | アラーム画像枠のHTMLファイル名<br>(省略時は画像直接表示)          |
| アラーム<br>画像制御 | /cgi-bin/almctrl | LNO     | 0000<br>~FFFF     | アラーム画像ログ番号(16進数4桁)                         |
|              |                  | FNO     | 00~FF             | アラーム画像フレーム番号(16進数2桁)                       |
|              |                  | FILE    | ファイル名             | 変換するファイル名<br>(省略時は/almctrl.html)           |

## HTMLサンプルファイル [ almctrl.html ]

```
<HTML>
<BODY BGCOLOR= " #FFC1C2 " >
<CENTER>
<B>アラーム画像コントロールパネル</B>
<TABLE BORDER=3 width=95% BORDERCOLOR=black bgCOLOR= " #DCFEFF " >
<TR>
<TH BORDER=3 BGCOLOR=black> <FONT SIZE=2 COLOR= " #DCFEFF " >
  先頭の画像へ
</TH>
<TH BORDER=3 BGCOLOR=black><FONT SIZE=2 COLOR= " #DCFEFF " >
  アラーム<BR>発生直後へ</TH>
<TH BORDER=3 BGCOLOR=black><FONT SIZE=2 COLOR= " #DCFEFF " >
  最後の画像へ</TH>
<TH BORDER=3 BGCOLOR=black><FONT SIZE=2 COLOR= " #DCFEFF " >
  コマ戻し</TH>
<TH BORDER=3 BGCOLOR=black><FONT SIZE=2 COLOR= " #DCFEFF " >
  コマ送り</TH>
</TR>
<TR ALIGN= " center " >
<TD><A HREF= " /alm%l_%h.jpg " TARGET= " almimg " onClick= " location=
  ' /cgi-bin/almctrl?LNO=%l&FNO=%h "' ><IMG SRC= " /button.jpg " ></A></TD>
<TD><A HREF= " /alm%l_%a.jpg " TARGET= " almimg " onClick= " location=
  ' /cgi-bin/almctrl?LNO=%l&FNO=%a "' ><IMG SRC= " /button.jpg " ></A></TD>
<TD><A HREF= " /alm%l_%t.jpg " TARGET= " almimg " onClick= " location=
  ' /cgi-bin/almctrl?LNO=%l&FNO=%t "' ><IMG SRC= " /button.jpg " ></A></TD>
<TD><A HREF= " /alm%l_%p.jpg " TARGET= " almimg " onClick= " location=
  ' /cgi-bin/almctrl?LNO=%l&FNO=%p "' ><IMG SRC= " /button.jpg " ></A></TD>
<TD><A HREF= " /alm%l_%n.jpg " TARGET= " almimg " onClick= " location=
  ' /cgi-bin/almctrl?LNO=%l&FNO=%n "' ><IMG SRC= " /button.jpg " ></A></TD>
</TR>
</TABLE>
</CENTER>
</BODY>
</HTML>
```

1

2

3

4

5

- 1 ボタンをクリックすると、先頭の画像を表示します。
- 2 ボタンをクリックすると、アラーム発生直後の画像を表示します。
- 3 ボタンをクリックすると、最後の画像を表示します。
- 4 ボタンをクリックすると、1コマ前の画像を表示します。
- 5 ボタンをクリックすると、1コマ次の画像を表示します。

# HTML記述による制御方法

## HTTPサーバーの文字列置換について

HTMLファイル中に、以下で説明する代替文字を使って、変数を記述することができます。

### 通常のHTMLファイル取得

下記の代替文字を含んだHTMLファイルをHTTPプロトコルでクライアントに送信する際に、無条件に代替文字を内部パラメーターに変更して送信します。

%で始まって、代替文字でない場合はそのまま表示されます。(例: %k %kのまま表示)

代替文字と同じ文字列をそのまま送信したい場合には、下記の方法を使用できます。

(例: &#37;m %m)

| 項目          | 代替文字     | 詳細説明   |
|-------------|----------|--|
| 動作モード       | %m       | 4 to 1モード時、%mは0に置換。1ch固定モード時、%mは1に置換。4 to 4モード時、%mは2に置換。 |
| カメラチャンネル    | %c       | 4 to 1モード時の現在選択中のチャンネル(1~4)。他モードのときは不定。                  |
| PULL間隔      | %i       | PULL用呼び出し間隔[ミリ秒]。(10進数)                                  |
| ライブ映像データサイズ | %w<br>%h | %wと%hはそれぞれ現在のライブ映像の幅と高さ。                                 |
| ライブ映像表示サイズ  | %W<br>%H | %Wと%Hはそれぞれ上記ライブ映像を表示する時の枠の幅と長さ                           |
| バージョン表示     | %v       | ファームウェアバージョン   |
| イーサーアドレス    | %e       | イーサーアドレス(MACアドレス)<br>00-00-00-00-00-00形式(16進数2×6桁形式)     |

### /cgi-bin/chconv

%c以外は、通常のHTMLファイル取得と同じです。4 to 4モードでチャンネル番号を指定するのに使用します。

| 項目       | 代替文字 | 詳細説明                  |
|----------|------|-----------------------|
| カメラチャンネル | %c   | 引数パラメーターのチャンネルの値(1~4) |

## /cgi-bin/almctrl

通常のHTMLファイル取得の代替文字は使用できません。

使用方法はHTMLファイル取得と同様です。

| 項目               | 代替文字     | 詳細説明   |
|------------------|----------|--|
| ログ番号(LNO)        | %l       | ログ番号。0000 ~ FFFF(16進数4桁形式)   |
| 先頭フレーム番号         | %h       | 指定ログ番号(LNO)のアラーム画像の先頭フレーム番号。通常00。  |
| アラーム直後<br>フレーム番号 | %a       | 指定ログ番号(LNO)のアラーム受信直後のフレーム番号。<br>00 ~ FF(16進数2桁形式)  |
| 最終フレーム番号         | %t       | 指定ログ番号(LNO)のアラーム画像の最終フレーム番号。<br>00 ~ FF(16進数2桁形式)  |
| 指定フレーム番号         | %c       | 引数FNOの値そのもの。00 ~ FF(16進数2桁形式)  |
| 次フレーム番号          | %n       | 引数FNOの一つ前の値。ただし、FNOが既に指定ログ番号(LNO)<br>の先頭フレーム番号(=%h)ならばFNOの値そのもの。<br>00 ~ FF(16進数2桁形式)  |
| 前フレーム番号          | %p       | 引数FNOの一つ後の値。ただし、FNOが既に指定ログ番号(LNO)<br>の最終フレーム番号(=%t)ならばFNOの値そのもの。<br>00 ~ FF(16進数2桁形式)  |
| アラーム画像表示サイズ      | %W<br>%H | %Wと%Hはそれぞれ指定ログ番号(LNO)のアラーム画像を表示す<br>る時の枠の幅と高さ。<br>(%w,%h,%W,%H)=(640,480,640,480)or(640,240,640,480)<br>or(320,240,320,240)or(160,120,160,120) |

例えば、指定ログの先頭のアラーム番号は、HTML内で/alm%l\_%h.jpg と記述できます。

# 故障と思われましたら

修理を依頼される前に、以下のことをご確認ください。

| 症状                           | 確認していただく内容  |
|------------------------------|---|
| 電源が入らない<br>(通電表示LEDが点灯しない)   | ・ 後面のDC電源入力に、ACアダプター(付属品)は接続されていますか。  |
| ブラウザからアクセスできない<br>・ モデム接続の場合 | ・ モデムの電源は入っていますか。<br>・ 後面のRS-232Cコネクタにモデムケーブルは接続されていますか。<br>・ ネットワーク設定の「使用するネットワーク」の設定が、PPPになっていますか。(CD-ROM参照)  |
| ・ LAN接続の場合                   | ・ 後面のイーサネットコネクタに10 BASE-Tケーブルは接続されていますか。<br>・ 前面の接続表示LEDは点灯していますか。<br>点灯していない場合は、LANに正常接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。ケーブルの接触不良、配線をお確かめください。<br>・ 本機に有効なIPアドレスは設定されていますか。(CD-ROM参照)<br>・ 間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか。(CD-ROM参照)<br>Windows95またはUNIXからアクセスしている場合、次の方法で接続を確認してください。<br>> ping 「NT104に設定したIPアドレス」<br>で、NT104からReplyが返ってくれば、正常動作しています。<br>Replyが返ってこない場合は、次の設定を行ってください。<br>(1)「モードの設定」を参照して「初期化」を行い、<br>IPアドレスを192.168.0.10に戻す。<br>(2)「グローバルネットワークへの接続」(CD-ROM)を参照して、<br>再度IPアドレスを設定し直す。<br>・ 設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか。(CD-ROM参照)<br>設定したアドレスと設置先のネットワーク・サブネットが矛盾していませんか。<br>[同一サブネット内に本機とクライアントが接続されている場合]<br>・ 本機とクライアントのIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか。<br>また、ブラウザで「プロキシサーバを使う」設定になっていませんか。<br>同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」アドレスに設定することを推奨します。<br>[異なるサブネットに接続されている場合]<br>・ 本機に設定したデフォルト・ゲートウェイの値は間違っていないか。 |

| 症状                                | 確認していただく内容  |
|-----------------------------------|---|
| 映像が表示されない                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>映像入力コネクタに接続したカメラなどの電源は入っていますか。</li> </ul>  |
| 映像が更新されない                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>ご使用のWWWブラウザやバージョンによっては、映像が更新されなかったり、カメラ制御などの操作に不具合が発生する場合があります。Netscape Navigator4.04以上、または、Internet Explorer4.0以上のご使用を推奨します（ただし、Netscape ver.6 系列は除く）。</li> <li>ネットワークの混雑具合や、本ユニットへのアクセス集中などにより、映像の表示が止まる場合があります。ブラウザの再読み込みボタンを押して、映像の取得要求を行ってください。</li> </ul>  |
| 基本画面を表示時に出てきた認証ウィンドウを、終了することができない | <ul style="list-style-type: none"> <li>正しいユーザー名、パスワードを入力してください。</li> <li>正しいユーザー名、パスワードが不明な場合は、画面上でESCキーを連打してください。入力が2回以上連続で有効になると、認証ウィンドウは再表示されません。</li> </ul>   |
| モデム接続時に、画像レートがたいへん遅い              | <ul style="list-style-type: none"> <li>モデム間の回線の実データ転送速度をご確認ください。</li> <li>シリアル設定のビットレートの設定を実データ転送速度に近い値に設定すると、画像のレートが良くなる場合があります。</li> </ul>  |
| HTML文書が表示されない                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>HTMLファイルの内容をご確認ください。</li> <li>HTMLファイルの記述内容が間違っていたり、ファイルが壊れているなどの場合、表示されないことがあります。</li> <li>また、ファイルの初期化作業が不完全な場合に、HTMLファイルが壊れる場合があります。再度、モード設定スイッチの2を「ON」にして、ファイルの初期化作業を行ってください。</li> </ul>  |
| 画像が保存できない                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>映像表示方式をご確認ください。PUSHモードでは、画像の保存はできません。</li> </ul>   |
| 画像の取得が異常に遅くなる、PCが反応しなくなる          | <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows95は、50日以上連続使用すると、問題があることがMicrosoftから公表されています。PCは1週間に一回程度、再起動することを推奨します。</li> </ul>  |
| ライブ映像が更新されない、アラーム画像が更新されない        | <ul style="list-style-type: none"> <li>PCのキャッシュからデータを読み出しているため、本機へ画像の要求がされていない可能性があります。この症状がよく起こる場合には、ブラウザの設定を下記のようにすることを推奨します。</li> </ul> <p>[Netscape Navigatorをご使用の場合]</p> <p>「設定」メニューのカテゴリ「詳細・キャッシュ」の欄で、メモリキャッシュおよびディスクキャッシュを0 Kバイトに設定してください。</p> <p>[Internet Explorerをご使用の場合]</p> <p>「インターネットオプション」の「インターネット一時ファイルの設定」で、「保存しているページの新しいバージョンの確認」を「ページを表示することに確認」を選択してください。</p> |

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 セキュリティ&セーフティ事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)

N0799-3121 V8QA5171DN